

SHIZUOKA

J · O · U · R · N · A · L

Vol. 24 No. 3 2015 (通巻192号)

目 次

| | | |
|------------------------------|--|--|
| 巻頭言 | 「私の考える放射線技師会の役割」 副会長 八木秀視 | 1 |
| 会 告 | 第4回公益社団法人静岡県放射線技師会総会の開催について(5/31) | 2 |
| | 第20回 静岡県放射線技師学術大会開催について(5/31) | 3 |
| | 第20回 静岡県放射線技師学術大会プログラム(5/31) | 4 |
| | 第64回超音波部会(6/20) | 6 |
| | 第26回放射線技師のためのセミナー(6/27) | 7 |
| | 第26回乳腺画像部会研修会(7/11) | 8 |
| 報 告 | 第42回アンギオ部会研修会(10/18) | 9 |
| | 第1回静岡県MRI技術研究会(10/25) | 11 |
| | 秋季公開講演会(11/23) | 13 |
| | 平成26年度 原子力災害緊急時対策研修会(11/29) | 14 |
| | 平成26年度診療放射線技師基礎技術講習MRI検査(12/7) | 16 |
| | 第8回 医療安全セミナー(12/13) | 17 |
| | 第25回 放射線技師のためのセミナー(1/17) | 23 |
| | 新春公開講演会(第23回アール祭)(1/24) | 24 |
| | 平成26年度第2回静脈注射(針刺しを除く)に関する講習会(2/8) | 26 |
| | 平成26年度静岡県デジタルマンモグラフィ研修会(2/8) | 27 |
| | 第63回超音波部会・第25回乳腺画像部会 合同研修会(2/14) | 28 |
| | 第43回アンギオ部会研修会・第2回静岡MRI技術研究会 合同部会(2/14) | 33 |
| | 学術論文 | 第43回アンギオ部会研修会・第2回静岡MRI技術研究会 合同部会(2/14) |
| 平成26年度 第3回理事会 議事録(12/6) | | 36 |
| メッセージボード | | 52 |
| 本会の歩み | | 56 |
| 会員動静 | | 59 |
| 本会への寄贈図書 | | 60 |
| 平成27年度公益社団法人静岡県放射線技師会事業計画(案) | | 61 |
| 行事予定カレンダー | | 63 |

『私の考える放射線技師会の役割』

公益社団法人静岡県放射線技師会 副会長 八木 秀視



先日医師会主催の国民医療を守るための静岡県総決起大会に出席してきました。決議内容を簡単に説明すると、一つは現場の意見に即した国民に必要なかつ十分な医療・介護を提供するための適切な財源の確保、もう一つが国民と医療機関等に不合理かつ不透明な負担を生じさせている医療に係る消費税問題の抜本的な解決になります。

この大会の裏には、第2次安倍内閣の第3の矢、規制緩和がかかっています。今年度は農協改革が行われています。私は静岡厚生病院に勤務していますが、農協の関係の病院ですので、かなり話題になっています。そして、来年度の第3の矢は医師会、歯科医師会に向けられそうです。そのための対策として行われたものが、国民医療を守るための静岡県総決起大会ではないかと、私は考えています。このような政治的活動も医師会の仕事になります。

実は放射線技師会も同じような活動を行ってきています。私が常任理事していた、20数年前から、技師の専門学校を作る動きが多数ありました。この頃、看護学校や臨床検査技師の学校は4年生学校が多数存在していました。放射線技師は4年生の大学が少なく、4年制への移行を急務と考えていました。つまり放射線技師の地位向上に欠かせないと考え

たからです。そのため、日本放射線技師会や各県技師会は反対運動を行い、専門学校を作る動きを阻止してきました。

また、MRIや超音波検査を放射線技師の仕事として、法的に承認されたこと。最近では注腸時のカテーテル、薬剤、空気の挿入や造影剤使用後の抜針など、色々な法改正が行われてきました。このような場合でも職能団体である、日本放射線技師会が必ず関係をしてきています。そして静岡県放射線技師会は日本放射線技師会の一部なのです。

しかし、残念なことに技師数は増えているはずなのに、会員数はなかなか増加しません。退職により退会するのは、仕方がありません。しかし、現職なのに退会する人が毎年多数いるのがとても残念です。県技師会が衰退していくことは我々の地位向上に赤信号が灯ることになってしまいます。退会された方は勉強会が面白くないとか、会の方針と考えが合わないなどの理由があるようですが、それでも、見えない形で十分恩恵を受けていると思います。

皆様の施設にも多くの非会員の方がいると思います。一人でも多くの技師が入会して頂けるように、皆様の協力をよろしくお願い申し上げます。

会 告

『第4回 公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会の開催について』

平成27年 3月27日
公益社団法人 静岡県放射線技師会
会長 和田 健

第4回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会を、定款第14条第1項に基づき下記のとおり開催いたします。

記

- 【日 時】 平成27年 5月31日（日） 14：10～15：20
【会 場】 ふじのくに千本松フォーラム プラサ ヴェルデ コンベンションホールB
〒410-0801 静岡県沼津市大手町一丁目1番4号
TEL055-920-4100
【議 事】 第1号議案 平成26年度計算書類等一式承認の件
その他

- * 第20回静岡県放射線技師学術大会と同時開催です。
- * 議案集・学術大会予稿集は後日送付いたします。

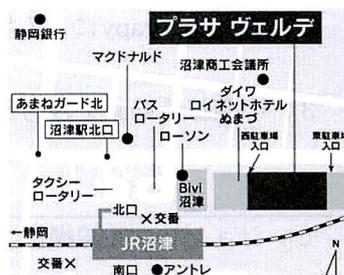
会 告

『第20回 静岡県放射線技師学術大会の開催について』

第20回静岡県放射線技師学術大会を、大会テーマ「県民の健康を支える放射線技術」として、下記の通り開催します。会員研究発表20演題およびランチョンセミナー、公開講演と充実した内容にて行います。多くの会員の皆様にご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

記

【日 時】 平成27年 5月31日(日)
【場 所】 ふじのくに千本松フォーラム (プラサ ヴェルデ)
3階 コンベンションホールB
〒410-0801 静岡県沼津市大手町1丁目1番4号
JR沼津駅北口より徒歩 3分



【内 容】

| | |
|-------------|--|
| 9:10~ | 受付 |
| 9:40~ | 第20回静岡県放射線技師学術大会 |
| 9:40~11:40 | 会員研究発表 午前の部 |
| | セッションⅠ 核医学・放射線治療 3題 |
| | セッションⅡ X線撮影① 5題 |
| | セッションⅢ X線撮影② 4題 |
| 11:50~12:50 | ランチョンセミナー |
| | ケアストリームヘルス&GEヘルスケア・ジャパン ～クラウドPACSの夜明け～ |
| | ①『クラウドPACSの基礎と将来』 ケアストリームヘルス HCIS事業統括部 長井 大樹 先生 |
| | ②『クラウドPACSの実践』 GEヘルスケア・ジャパン ヘルスケアIT本部 大越 厚 先生 |
| 13:00~14:00 | 公開講演 |
| | 『医療にも使用される3Dスキャナの最新技術 ～3Dスキャナって何?～』 講師: 浜野エンジニアリング 取締役 浜野 雄基 先生 |
| 14:10~15:20 | 第4回公益社団法人 静岡県放射線技師会定時総会 |
| 15:30~16:50 | 会員研究発表 午後の部 |
| | セッションⅣ X線CT 4題 |
| | セッションⅤ MRI 4題 |
| | 閉会の辞 |

【参加費】 正会員 1,000円
賛助会員 3,000円

※技師会員はIDカードをご持参ください。

『第20回静岡県放射線技師学術大会 プログラム』

受付 9:10～

研究発表 午前の部 9:40～11:40

セッションⅠ 核医学・放射線治療 9:40～10:10

座長 順天堂大学医学部附属静岡病院 放射線室 高橋 則和

- 1、SPECT専用装置の機器更新における収集条件の基礎的検討
静岡県立総合病院 放射線技術室 土屋 知紹
- 2、Tomotherapyによる放射線治療
富士宮市立病院 診療技術部 酒井 洋和
- 3、心臓線量低減を目的とした吸気停止下での左乳房照射法について
浜松医療センター 診療放射線技術科 藤下 容子

セッションⅡ X線撮影① 10:10～11:00

座長 共立蒲原総合病院 放射線科 渡邊 知巳

- 4、デジタルマンモグラフィ装置における当院の撮影条件の検討
磐田市立総合病院 第一放射線診断技術科 小坂橋 実夏
- 5、コニカ Aero DR システムの使用経験
順天堂大学医学部附属静岡病院 放射線室 七尾 光広
- 6、富士フィルムメディカル社製CALNEO-SMARTを使用した胸部ポータブル撮影における最適線量の検討
沼津市立病院 放射線科 一杉 光俊
- 7、FPDを用いた曝射非連動撮影におけるX線感度設定の検討
聖隷三方原病院 画像診断部 松田 綾華
- 8、自動露出制御システムのX線出力の安定性について（JIS規格をもとに）
順天堂大学医学部附属静岡病院 放射線室 山田 瑞穂

セッションⅢ X線撮影② 11:00～11:40

座長 国際医療福祉大学付属熱海病院 放射線科 山内 絃作

- 9、デジタル多目的Cアーム型FPD-DR装置は本当に1台2役と成り得るか
聖隷沼津病院 放射線課 田沢 範康
- 10、術者に応える腹部血管造影
共立蒲原総合病院 放射線科 嶋崎 龍洋
- 11、当院の医用画像表示用液晶モニタの精度管理について
富士宮市立病院 中央放射線科 利 旭央
- 12、一般撮影部門における5S活動導入時の問題点と課題について
富士市立中央病院 中央放射線科 岡田 和教

ランチョンセミナー 11:50~12:50

ケアストリームヘルス & GEヘルスケア・ジャパン

座長 静岡済生会総合病院 放射線技術科 石田 眞貴廣

～クラウドPACSの夜明け～

①『クラウドPACSの基礎と将来』

ケアストリームヘルス HCIS事業統括部 販売促進部

長井 大樹 先生

②『クラウドPACSの実践』

GEヘルスケア・ジャパン ヘルスケアIT本部 ソリューション営業部

マネージャー 大越 厚 先生

公開講演 13:00~14:00

座長 浜松医療センター 診療放射線技術科 竹田 守

『医療にも使用される3Dスキャナの最新技術 ～3Dスキャナって何?～』

浜野エンジニアリング 取締役 浜野 雄基 先生

第4回 公益社団法人 静岡県放射線技師会定時総会 14:10~15:20

研究発表 午後の部 15:30~16:50

セッションIV X線CT 15:30~16:10

座長 富士市立中央病院 中央放射線室 菅原 和仁

13、乳房MIP画像における作成方法の検討

聖隷沼津病院 放射線課 原田 真

14、肝3DCTAngiographyの至適撮影条件の検討

静岡県立総合病院 放射線技術室 大石 恵一

15、非造影冠動脈CT撮像時に胸部全体の評価は必要か?

沼津市立病院 放射線科 中西 孝文

16、自作手根骨・腱ファントムを用いた3DCTによる腱の撮影条件の検討

順天堂大学医学部附属静岡病院 放射線室 佐藤 朗

セッションV MRI 16:10~16:50

座長 富士宮市立病院 中央放射線科 原 陽一

17、IR pulseを用いたVISTAによる頭部T1WIの有用性の検討

順天堂大学医学部附属静岡病院 放射線室 有坂 英里

18、前立腺MRI検査におけるComputed DWI の運用と有用性の検討

すずかけセントラル病院 放射線科 松下 真弓

19、【症例報告】椎骨動脈ステントアシスト下コイリング術に対して

MRIが有用であった2症例について

静岡県立総合病院 放射線技術室 大川 剛史

20、「磁場体験ツアー」とその有効性

浜松医療センター 診療放射線技術科 萩原 雄三

会 告

『第64回 超音波部会研修会開催について』

下記の通り、第64回超音波研修会を行います。多数の参加をお待ちしております。今回は症例発表会をメインとさせていただきます。日頃の業務で経験した貴重な経験をこの機会に報告していただければ幸いです。

記

【日 時】 平成27年 6月20日（土）

15：00～

【場 所】 静岡県放射線技師会新事務所

静岡市葵区本通一丁目3番地5 フェリス本通202号

TEL054-251-5954

【参加費】 1000円

【内 容】

14：30 受付開始

15：00～15：30 メーカー講演 最新の超音波診断装置

15：30～16：10 教育講演1 仮称『甲状腺の超音波検査』

16：15～17：00 教育講演2 仮称『小児の脊髄エコー』

17：05～18：00 教育講演3 題名：未定

症例報告公募のお知らせ

今年も症例発表会と題して第65回超音波部会研修会を開催する予定です。会員の皆様に症例報告を公募いたしますのでよろしくお願い申し上げます。日頃の業務の中で得た、貴重な経験をこの場で報告して頂ければ幸いです。

応募については、メールによって受付します。

応募先 E-mail : shizuhogi_us@yahoo.co.jp

office word 形式により1ページ分の抄録を添付してお送りください。

内容は、主訴、既往歴、血液検査、生化学検査など 超音波画像診断像、他の画像診断、結果、考察等を記載してください。また、症例についての分野は問いません。決して敷居は高くありませんので、若手のステップアップのためや自分自身の向上の為にも是非応募してください。応募締め切りは、9月30日まで。

会 告

第26回 放射線技師のためのセミナー開催のご案内

第26回 放射線技師のためのセミナーを下記の通り予定いたします。

記

- 【日 時】 平成27年 6月27日（土）
13：30～17：00（受付13：00～）
- 【場 所】 静岡県放射線技師会新事務所
静岡市葵区本通一丁目3番地5 フェリス本通202号

【内 容】

放射線管理、放射線機器管理に関するテーマで内容を検討しております。内容が決まり次第、静岡県放射線技師会ホームページへ掲載しますので、御確認お願い致します。多くの会員の皆様の御参加をお待ちしております。



会 告

第26回 乳腺画像部会研修会

『トモシンセシスについて』

乳腺画像部会研修会では、トモシンセシスについての実績報告などを含めた勉強会を下記の日程で企画する予定にしております。

内容の詳細は未定ですので、決定次第、技師会ホームページでお知らせ致します。

多くの方の参加をお待ちしております。

記

- 【日 時】 平成27年 7月11日(土)
【場 所】 中東遠総合医療センター
静岡県掛川市菖蒲ヶ池1番の1 (0537-21-5555代)
【内 容】 トモシンセシスについて
詳細内容未定
【参 加 費】 1,000円

第42回アンギオ部会研修会報告

平成26年10月18日(土)
パルシェJR静岡駅ビル

平成26年10月18日(土曜日)に第42回静岡県放射線技師会アンギオ部会研修会をパルシェJR静岡駅ビルにおいて開催しました。今回は「頭頸部領域」に関する研修会を企画いたしました。

まず、メーカー講演といたしまして共催メーカーであります第一三共株式会社の佐々木達先生より「非イオン性等浸透圧造影剤ビジパークの有用性について」というテーマでご講演を賜りました。ヨード造影剤は血管造影や造影CTなどの画像診断において必要不可欠な体内診断薬であり、多くの医療施設において使用されています。

その一方で、アナフィラキシー様症状や、造影剤腎症(contrast induced nephropathy : CIN)と呼ばれる急性の腎障害、薬剤注入時における熱感や疼痛といった副作用を引き起こす場合があることが広く知られており、臨床現場における大きな問題となっています。今講演では、等浸透圧であるビジパークと従来の低浸透圧ヨード造影剤との副作用の発現率、造影検査での有効率、ERCPにおける急性膵炎の発症率の比較検証を通して、ビジパークとという造影剤の特性についてご説明いただきました。

会員講演といたしまして、富士市立中央病院の井出会員より「シーメンスアンギオ装置の導入と使用経験」というテーマで、中東遠総合医療センターの中山会員より「Allura Xper Clarityの使用経験」というテーマで発表していただきました。

シーメンスアンギオ装置の導入と使用経験のテーマでは、このたび富士市立中央病院にて新規導入されたシーメンスArtis Qと旧機器である同社Artis zee、そして新規導入の候補に挙げたもう一つの機器であるフィリップスAllura

Clarityとのハード面やソフト面における性能・仕様の比較を挙げて新機器の特色をご説明いただきました。また、新機器は様々なIVR支援プログラムが充実しており、それらを実際に用いた画像症例を交えて使用経験を報告していただきました。

Allura Xper Clarityの使用経験のテーマでは、このたび中東遠総合医療センターにて新規導入されたフィリップスAllura Xper Clarityと旧機器であるAllura Clarityとの性能・仕様の比較を挙げて新機器の特色をご説明いただきました。

同機器はソフト面、ハード面において旧機器から新機器へ引き継いだ部分が多く、機器変更した際に操作性で戸惑うといったことはなかったそうです。相違点として画像演算処理能の向上によってノイズや被曝線量の大幅な低減に成功していることを挙げられました。High - Resolution Xper CT、1回のローテーションでマスク像を撮影することなく3D画像を収集することができる3D-RAなど、多彩なIVR支援プログラムを画像症例と共に報告していただきました。

特別講演といたしまして、掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター脳神経外科統括診療部長兼脳血管内治療センター長 市橋鋭一先生より「急性脳主幹動脈閉塞に対する最近の治療の進歩」というテーマでご講演を賜りました。

同施設では急性期の脳梗塞患者に対してDrip, Ship and Retrieveという取り組みを行っておられ、これは近隣の脳血管内カテーテル治療が行えない施設において急性期の脳梗塞患者に対しDrip (tPAを投与)して、治療可能な施設にShip (救急搬送)し、そしてRetrieve (血管内カテーテル治療)を行うというものです。このときtPA

を投与する意義はそれによって血栓溶解を狙うのではなく、初診から治療を開始するまでの間に血栓がそれ以上成長しないよう足止めすることにあります。tPAの投与と脳血管内カテーテル治療を組み合わせることによって治療成績を有意に上げることが可能となります。ところが近年、海外において脳血管内カテーテル治療はtPA静注のみの場合と治療効果に有意差はなく、医療費の無駄であるという旨の報告（ホノルルショック）がありました。しかし、その統計には治療成績のあまり良くない初期のデバイスも含まれており、データそのものに疑問の余地があり、現在、本邦の脳血管内カテーテル治療を専門的に行える様々な施設がこのホノルルショックに立ち向かうべく、合同で臨床試験（RESCUE - Japan Study）を行っているとのことでした。

いずれの演題も頭頸部領域のIVRに関する最新事情として大変興味深く拝聴致しました。最後に、貴重なご講演を賜りました先生方、参加して下さった会員の皆様に心より感謝申し上げます。

アンギオ部会／山内絃作

第1回 静岡県MRI技術研究会 報告

平成26年10月25日(土)
静岡県教育会館

平成26年10月25日(土)に静岡県教育会館にて「第1回静岡県MRI技術研究会」が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、研究会には78名もの参加者が集まりました。予想以上に多くの参加者が集まり会場となる教育会館B会議室が満員になりました。座席数も足りず参加者の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

【情報提供】東芝メディカル株式会社より「MRI装置に最新情報」について講演して頂きました。

【プレストSPEEDER】乳房コイルが上下左右に可動するので乳房の形状や大きさに応じてコイルを密着させることが可能なため、SN比が従来に比べ向上し綺麗な画像が撮影できるとのことでした。またこのコイルの特徴としてバイオプシーにも対応していて、アプローチもより精度良く簡単にできるということでした。

【基礎講演】浜松医療センター 放射線科 有谷 航 会員より「MRI装置の安全性について」講演して頂きました。MRI検査では実際に死亡事故まで起きており、検査をするにあたって十分な注意が必要です。日常的な点検から検査において注意する点などを詳しく話して頂きました。

続いて静岡県立総合病院 放射線科 大川 剛史 会員より「MR装置に関する災害時の対応に関しての文献紹介」について講演して頂きました。MR装置は通常経験する地震に耐えられるよう設計・設備されています。東日本大震災によるMR装置の被害状況の調査結果を基に震災による被害を最小化し、震災後のMR装置の安全管理と復帰の迅

速化を計る上で有効と考えられる方法を話して頂きました。特に震度5以下の地震では、MR装置の全般的な被害程度の軽減にアンカーボルト固定方式が有効だということでした。実際この方式で固定をしたMR装置は、固定していない装置より地震による被害が少ないことが報告されています。

【技術講演】順天堂大学医学部付属静岡病院 放射線科 愛甲 泰久 会員より「婦人科骨盤MRI撮像技術」また、市立島田市民病院 放射線科 畑 利浩 会員より「前立線・膀胱のMRI撮像技術」の講演をして頂きました。

【教育講演】静岡県立総合病院 放射線科 医長 松山 縁 先生より「婦人科領域の画像診断」について講演して頂きました。先生が盛んにおっしゃっていたのは、婦人科領域でのMRI検査では「綺麗なT2強調画像がほしい」ということでした。T2強調MRIでは、子宮内部の構造が明瞭に描出され、その位置の把握も容易なうえに、内膜や筋像の評価も可能です。子宮頸がんのステージにおいて1期a以外、子宮摘出が適応されます。つまり出産できなくなるのです。子宮頸がんは1期aなのかそれ以外なのかが重要になってきます。1期aとは浸潤の深さが3mm以内で、広がりが7mm以内のものを指します。この微細な病変を見極める為にも「綺麗なT2強調画像」がなければ診断はつきません。先生には典型的な症例から、日常ではあまり経験できない症例まで、さまざまな症例を例題にT2強調画像の重要性と活用術を教えて頂きました。

【おわりに】今回より、日本磁気共鳴専門技術者認定機構の認定研究会となり、名称も「静岡県MRI部会研修会」から「静岡県MRI技術研究会」となりました。本会はこれからも継続して、情報の提供や意見交換の場を設けていきたいと思っています。

御協力していただいた会員の皆様、情報提供をしてくださった東芝メディカル株式会社様、演者の先生方に心から感謝致します。多数の御参加ありがとうございました。

(MRI部会 中東遠総合医療センター 黒田 貴憲)



市民公開講演会報告

『秋季公開講演会～胃がん検診受診率向上を目指して～』

平成26年11月23日(日曜日)

静岡県産業経済会館 第1会議室

主催)公益社団法人 静岡県放射線技師会 後援)静岡市

静岡県放射線技師会は公益事業として、がん撲滅、そしてがん検診受診率向上を目指した講演会を毎年企画しています。

今年は胃がんをテーマとし、11月23日(日)、静岡県産業経済会館 第1会議室を会場に市民公開講演会を開催しました。

当日のプログラムは以下の通り

13:30～ 受付

14:00～14:45

『ピロリ菌除菌時代の胃がん検診』

公益財団法人 伊豆保健医療センター

診療放射線科科长 秋山 洋 会員

(座長: 赤池 正久 会員)

15:00～16:00

『胃がん検診受診率向上を目指して』

公益財団法人 SBS静岡健康増進センター 所長

遠山 和成 先生

(座長: 山本 英雄 会員)

16:00 閉会



伊豆保健医療センター 秋山会員からは胃がん検診の基礎から胃がん検診の課題と今後の展望をお話していただきました。今後の胃検診においては、高齢化や企業意識の変化などにより、安全で精度良く、安価で効率性の高いものが選択されていくとのこと。今後、バリウム検査が生き残っていくためには撮影・読影技術の向上や接遇

など、我々診療放射線技師の意識向上がかかせないとのことでした。「バリウム検診が敬遠される理由は、我々技師の問題が大きいのかかもしれない」という言葉には、ハッとさせられました。



SBS静岡健康増進センター所長の遠山先生からは、「胃がん検診受診率向上を目指して」として、我が国のがん罹患率・検診受診率の現状・胃がんについての基礎等を統計や症例を交えて分かりやすく説明していただきました。「がんは早期発見が重要であり、検診は大変有効である。診療放射線技師も積極的に市民に向けて広報、勧誘すべし」と熱く語られていました。そのためには有益な検査をすべきでありエビデンスは重要、技師も積極的に研究に参加すべきであるとおっしゃっていました。

当日の参加者は、会員:16名、一般:3名、講演者:2名、報道:2名の計23名でした。

また、静岡新聞社と静岡放送の取材があり、同日のSBSニュースで講演会の模様がテレビ放映され、後日、静岡新聞にも記事が掲載されました。

今回の反省点として、広報活動したにも関わらず一般の方の参加がほとんどありませんでした。広報・内容等に工夫を凝らして、来年度は、公益事業としてより多くの県民の皆さまに参加していただけるようにしたいと思います。

広報担当理事 市川和秀

平成26年度 原子力災害緊急時対策研修会 報告

平成26年11月29日(土)
静岡県立総合病院つつじホール

平成26年度原子力災害緊急時対策研修会が11月29日(土)、静岡県立総合病院つつじホールにて開催されました。当日は朝大雨となってしまう、研修会の参加者が少ないのでは、と大変不安がよぎりました。そういった事も重なり、今年の参加人数は34名でした。

昨年同様に土曜日開催という事で、14:00から公開講演を行いました。講演内容は、静岡県防災センターの所長、小林佐登志先生に「静岡県の地震対策」- 正しく知って、正しく恐がる -と題して講演をして頂きました。



その内容は、1.東海地震とはどのようなものか？ 2.静岡県の東海地震対策、3.南海トラフ巨大地震と第4次地震被害想定、4.静岡県の地震津波対策アクションプログラム2013、5.中部電力浜岡原子力発電所の現状について講演をしていただきました。

東海地震は1854年の安政東海地震以来大きな地震は起こっていないので、近い将来巨大地震の発生が予想されていて、県では新たな地震・津波対策の目標を定めるため、「静岡県第4次地震被害想定」の策定を平成24年度に実施しました。

また、浜岡原子力発電所の廃炉状況や現在の浜岡原子力発電所では福島原子力発電所のような放射能汚染の危険性は少ないとのことで、少し安心できました。



技師のためのセミナーでは、日立アロカ株式会社 大塚洋英先生に【GM菅サーベイメーターの原理と取り扱い】と題して講演をして頂きました。



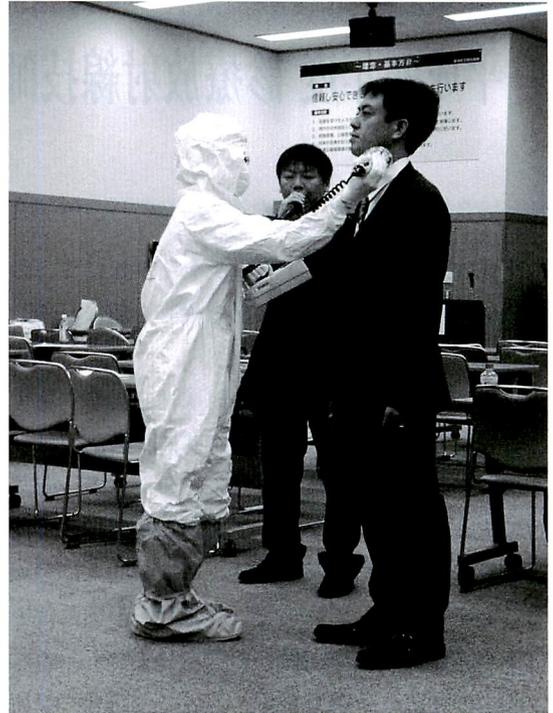
サーベイ装置の特性及び測定上の注意事項の説明を聞き、放射線の種類と検出器、GMサーベイメータの構造、機器による数え落とし使用上の注意点などについて、詳しく説明がなされました。

その後【GM管サーベイメータの取り扱い実習】を管理士部会と中部電力浜岡原子力発電所放射線安全課、(主任) 佐野 剛氏と水谷 裕氏にて行いました。

内容はマントルを用いての測定実習・機器装置操作研修を行うことで災害時に的確に測定を行える様に実習をしました。



6グループ4名にて行う実習でしたので、内容的にはかなり充実していた印象を受けました。



続いて、原子力災害におけるスクリーニング実習を行いました。中部電力の佐野 剛、水谷 裕さんが実際のサーベイの実演を行って、注意点など説明されていました。

この研修は、日ごろ病院勤務している放射線技師はサーベイメータの取扱の機会はほとんどないため、原子力災害時に協力できる施設は限られてしまいます。

できるだけ多くの会員に、このような機会を提供できるように取り組みを今後も増やしていきたいと考えます。

(災害対策委員長 望月 茂)

平成26年度 診療放射線技師基礎技術講習MRI検査 報告

平成26年12月7日(日)
アクトシティ浜松

平成26年12月7日にアクトシティ浜松にて、診療放射線技師基礎技術講習MRI検査を開催しました。

平成22年度より日本診療放射線技師会が実施することになった診療放射線技師基礎技術講習は、すべての診療放射線技師を対象とした基礎技術講習です。医療の担い手として必要な基礎知識と技術を身につけ、医療及び保健、福祉の向上に努めることを目的としています。今年度、静岡県は中日本地域においてMRI検査を担当しました。

年末の休日にも関わらず、54名の受講者に参加していただきました。その内、会員は52名、非会員は2名でした。全体の8割は県外からの参加者でした。講義は1コマ45分を午前4コマ、午後4コマ、計8コマ行い、最後に臨床技術能力検定を行いました。

講義内容としては、「MRのハードウェア」を浜松医療センター 有谷 航会員から。「基礎原理」を聖隷浜松病院 杉村正義会員から。「パルスシーケンスと画像コントラスト」を磐田市立総合病院 松芳圭吾会員から。「各種パラメータと各シーケンスの画質への影響」を菊川市立病院 高橋洋一会員から。「撮影技術」を沼津市立病院 一杉光俊会員から。「アーチファクト」を静岡県立こども病院 佐野恭平会員から。「性能評価」を静岡済生会総合病院 山崎敬之会員から。「安全管理」を静岡県立総合病院 大川剛史会員より行われました。カリキュラムの範囲が広く、1コマ45分で行う講義の内容としては時間的にも大変厳しかったのですが、県内でも選りすぐりのMRIに精通した講師陣でしたので、内容も講義資料も解りやすく45分をフルに使って講義をして頂きま

した。受講生にとっては一瞬たりとも気を抜くことができず、皆、大変緊張した真剣な面持ちで講義を受けていました。最後に臨床技術能力検定を行いました。この能力検定に合格をすることによって日本磁気共鳴専門技術者認定機構の磁気共鳴専門技術者認定試験の受験資格が得られるとあって、会場がより一層ピリピリとした雰囲気となりました。全てのカリキュラムと能力検定が終わり終了となりました。

来年度、中日本地域において診療放射線技師基礎技術講習MRI検査は、富山県で開催が予定されています。今回、残念ながら受講できなかった方はそちらにお申込み下さい。静岡県では基礎講習消化管撮影を開催する予定です。消化管撮影に精通した方々に講師をお願いする予定ですので、是非とも受講して頂きたいと思います。

最後に、本講習会の開催に際して、ご尽力頂きましたMRI部会長の 大川剛史 会員をはじめ、講師を引き受けて下さった皆様に厚く御礼を申し上げます。

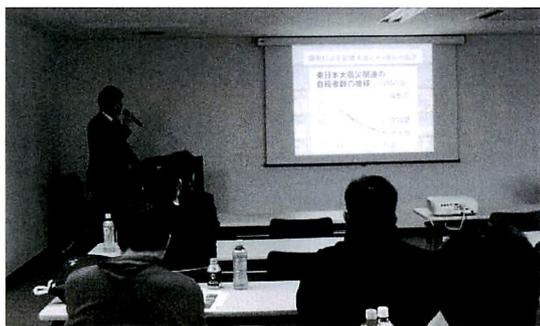
生涯教育委員 曾我 隆正

第8回医療安全セミナー報告

平成26年12月13日(土) 14:30～16:30
静岡県放射線技師会事務所

この医療安全推進委員会は、会員が重大な事故につながらないためにリスク情報の共有化を図る目的に発足され、今年で第8回目になります。今回はチーム医療の推進関連の1つにあった「放射線検査等に関する説明と相談を行うこと」をテーマに行いました。検査に関する説明や相談は医療安全の第一歩となります。

まずは医療安全推進委員長より「放射線被ばく相談員講習会に参加して」と題して報告がありました。これは日本診療放射線技師会主催の講習会です。貿易センタービルにある技師会事務所です。3日間開催しました。医療被ばく相談と災害被ばく相談の違いや、被ばく相談はカウンセリングであり傾聴する事が重要で、演習で座る位置によって与える印象が違うなどを体験した報告をしていました。



次に「造影剤使用時におけるインフォームドコンセント」と題して第一三共株式会社 東海支店エリア統括第二部 造影剤・肝臓領域担当の佐々木達先生の講演がありました。内容は造影剤の説明と同意書に関して日本医学放射線学会が質問の根拠となる文献をエビデンスレベルで点数化しABCで評価をおこなっているの、問診表の参考にして欲しいとの事でした。また最近の造影剤

事故の事例を挙げ、医療訴訟となった場合にどのような事が問われるか、説明して頂いた。最後にトピックスとして逐次近似再構成法を用いたCTの低管電圧撮影を使用する事によりヨードの濃度を減らしても同等の造影効果が認められた話をさせて頂いた。

ヨードの濃度が少ない程、副作用の発症率が低く被ばく量も減るので医療安全としても推奨される検査法だと思いました。



次に「放射線検査説明に関するガイドラインについて」と題して(元)公益社団法人日本診療放射線技師会放射線検査説明・相談促進委員会委員長の麻生智彦先生の講義がありました。放射線検査説明に関するガイドラインを作成するにいたった経緯と目的を語って頂きました。

大事な事はあたり前の事を確実に正確に伝える事。また、ガイドラインの利用法として技師のベースラインの構築はもちろんの事、新人技師への教育にも活用できる事がわかりました。そして実際に説明するにあたり患者さんから聴きたい説明と医療提供者が伝えたい説明の相違があるので、医療メディエーションの考え方を活用した内容も話してくれました。

最後に診療放射線技師の評価を個人ではなく、職種として格を上げる為にカルテ記載を推奨されていました。診療放射線技師の責任の発生と、社会的な認識と位置づけに繋がるし、記載する為にはスキルが必要になります。目標は安全とその先の安心と力説していただきました。



医療安全推進委員会においても、会員の皆様に安全とその先の安心を共有していただく為、セミナーを続けていきたいと思えます。気軽に参加できるようなテーマを考えていきますので、今後ともよろしくお願ひします。

(医療安全推進委員長 田沢範康)

第8回 医療安全セミナー

放射線検査説明に関する ガイドラインについて ～医療安全におかれて～

元公益社団法人日本放射線技師会
放射線検査説明促進委員会 麻生 智彦
(国立がん研究センター中央病院)

平成22年4月30日 医政発0430第1号

医療スタッフの協働・連携
によるチーム医療の推進

↓

- ① 画像診断における読影の補助を行うこと
- ② 放射線検査等に関する説明相談を行うこと

平成22年4月30日 医政発0430第1号

- ① 現在行われている医師が説明すべき事項に踏み込むこと
- ② 全ての診療放射線技師が責任をもって行なえること
- ③ 説明事項を明確に記録すること

② 放射線検査等に関する説明相談を行うこと

1 通年指針

- ①患者中心の医療展開
- ②幅広いニーズに提供

2 対象

- ①日本の全ての診療放射線技師
- ②中小施設で勤務する技師を中心

3 コンセプト

- ①全国の医療施設でのベースラインとなる指針の策定(運用を重視)
- ②患者、医師、施設のニーズに合った説明(幅広い対応)
- ③全ての診療放射線技師が責任をもって行なう(責任の啓発)

4 委員会活動の成果

- ①リーフレット作成
- ②アンケートの実施と分析
- ③FAQの作成
- ④検査説明の指針策定
 - 検査説明ガイドライン
 - 検査説明指針
- ⑤検査説明の啓発活動
 - シンポジウム(発信)
 - ポスター等(掲示)

5 検査説明ガイドラインについて

< 目的 >

- ・放射線検査説明の最低遵守項目の設定
- ・最良の検査のため(高質かつ安全安心)
- ・検査責任の明確化

< 概要 >

- ・モダリティ毎
- ・入室 ~ 退出まで
- ・概要,医療安全,画質に係る事項に分類

< 骨子 >

- A) 検査概要の説明
(目的,内容,時間)
- B) 医療安全に係る説明
(氏名,禁忌,食事,服薬,造影剤)
- C) 検査の質に係る説明
(脱衣,呼吸,体位,体動)
- D) 検査後の説明
(他検査,止血,服薬,食事,運転,便)

< 骨子 >

- A) 検査概要の説明
(目的,内容,時間)
- B) 医療安全に係る説明
(氏名,禁忌,食事,服薬,造影剤)
- C) 検査の質に係る説明
(脱衣,呼吸,体位,体動)
- D) 検査後の説明
(他検査,止血,服薬,食事,運転,便)

あたい前の事を
確実に、
正確に伝える事

ガイドラインの利用について

1. 診療放射線技師のベースラインの構築
 - ・ 最低限説明すべき項目
 - ・ 院内における検査説明の齟齬の防止
 - ・ 新人技師への教育
2. メディカルスタッフとしての認識のために
 - ・ 関連事項の知識として望ましい項目
 - ・ 施設状況やモデルティによる説明時間の制約
 - ・ 患者の理解度の幅や差を踏まえて



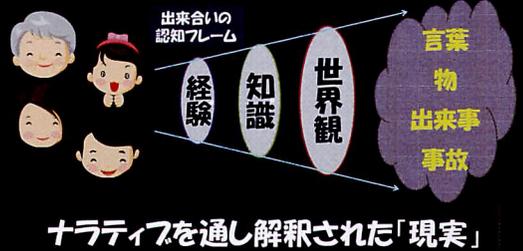
coffee break

放射線検査説明の手引き

著者 検査説明相談委員会
編集 日本診療放射線技師会
発行 医原科学社

認知？

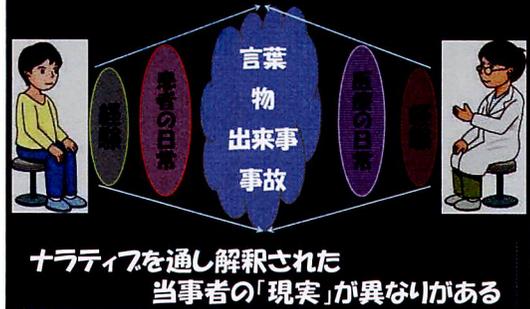
(人が外界にある対象を知覚した上で、それが何であるかを判断・解釈する過程のこと)



認知フレームとは？

- 人間は、パターン化された「ものの見方」の枠組みを持っている
- 「ものの見方」の枠組みを「認知フレーム」
- ・ 日常慣れ親しんだ視点の現実
- 未体験の出来事に対する「出来合いの認知フレーム」を「典型的ナラティブ」
- ・ 未経験だがニュース、小説や映画などパターン化されたストーリーを含む形による視点の現実

患者さんとの認知の齟齬？



医療提供者と患者の視点の相違

患者さんが聴きたい説明

- 疾患に関すること
- 検査から得られる結果
- なぜ、この検査を行うか
- 検査や検査薬の安全性(副作用・被ばく)
- 検査日時・検査費用

医療提供者が伝えたい説明

- 前処置について
- 検査時間(拘束時間)
- 検査内容(どのような検査を行うか)
- 更衣の有無や体位について
- アレルギーや体調、過去の副作用歴

モダリティによる視点と展開

1. 一般撮影・乳腺撮影
件数が最も多く、説明時間が限られている。
依頼間違い、追加撮影が多い(疑義照会)
2. CT・MRI検査
造影剤、禁忌薬剤、同意書等
への対応が必要。(医療安全)
3. 核医学検査
検査の特殊性(前処置、高額検査、被ばく)
検査説明や相談窓口設置の必要性?



医療提供者と患者の視点の相違

重要な項目(5W1H)

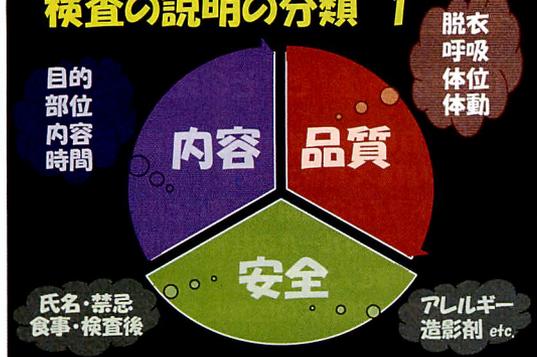
- Who (誰が)
- What (何を)
- When (いつ)
- Where(どこで)
- Why (なぜ)
- How (どのように)

4. 血管撮影
職種連携や職種壁を越えての説明
(チーム医療と協働推進)
患者状況(アレルギー・局所麻酔)を踏まえた訪問説明
事前説明や術後説明の推進(説明と被ばく部位確認)

5. 超音波・消化管撮影
リアルタイムな画像と検査
(診断と読影補助にかかる
説明と相談のバランス重要)



検査の説明の分類 1



検査の説明の分類 2

医政発0430第1号
現行法の遵守を担保



検査の説明の在り方

どんな検査？ 時間かかるの？
何かわかるの？ 動いてはダメ？
食事？ 薬つかうの？

説明
メデイカルスタッフが協働
放射線技師

安全・安心な医療提供
高質な医療提供

放射線検査説明・相談の要点

- ・ 患者さんのナラティブを理解・想定しながら
- ・ 分かりやすい言葉と順序で（年齢を加味して）
- ・ 限られた時間に多くの情報を含めて
- ・ 5W1H 特にWhyに重点を置いて
- ・ 質問には傾聴の気持ちを持って



コミュニケーションスキル「聴く」

【聞く(Hear)】

ただ何となく聞く。

相手の話を受け止められない。正しく理解できない。

【訊く(Ask)】

相手に何かを尋ねることを示す。

相手が言いたいことを話せない。

【聴く(Listen)】

身を入れて聞く、意識的に相手に耳を向けた聴き方。

相手の話を受け止め、正しく理解できる。相手の立場や気持ちも理解できる。

傾聴

カルテ記載の推進について

- ・ 診療放射線技師の責任の発生
- ・ 診療放射線技師の社会的な認識と位置づけ
- ・ カルテに記載すること
(法的記録責任、情報共有、病院機能評価)
- ・ カルテ記載に必要な事項とスキル
(検査説明内容、所見・読影レポート、被ばく等)
- ・ 全ての診療放射線技師が実施且つ継続

“聴く”に関する4つのスキル

ゼロポジション：相手の話をあるがままに理解し、その状態を受け入れること。聴くことの基本姿勢。

ミラーリング：人間には、「同じ」ということで、安心感と親密感を覚える性質がある。

感情反映：相談者の抱えている感情を適確に受け止め、それを相談者に伝え返すこと。話のキーポイントとなる行動や感情を伝え返す。

相手中心型質問：相手からさらに奥深い気持ち、ニーズ、考え方を引き出すための質問。

安全で良質な医療の提供

- ・ 目標は“安全”と、その先の“安心”
 - － 患者目線の検査説明と患者接遇の実践（より優しく患者ニーズに）
 - － ガイドラインの活用や見直しと周知徹底（シンプルなルールの共有と展開）
 - － 教育訓練と人材育成（人づくりが最大の医療安全と安心担保に）

第25回 放射線技師のためのセミナー 報告

平成27年1月17日(土)
(公社)静岡県放射線技師会事務所

今回のセミナーは、静岡県放射線技師会事務所で開催し、参加者は51名でした。

「FPDの最新技術」のセッションでは、メーカーによる製品紹介と最新技術についてプレゼンをして頂きました。富士フィルムメディカルでは、既存のラインナップに加え、昨年末に新発売されたCALNEO Smartの紹介がありました。同社の間接変換方式のFPDでは、ISS方式と柱状結晶の新センサーで高い描出能を実現、またCsIで高感度化を実現しており、CR比1/4の線量で同等の粒状性、鮮鋭度が得られるとの事でした。また、体動検出やVirtual Grid処理などの最新技術の紹介もありました。コニカミノルタ株式会社からはAeroDRの製品紹介と、画像形成プロセスから柱状結晶成長技術などの紹介の後、線量低減の考え方の説明がありました。同社のAeroDR (HQ)はREGIUS190 (175 μ 読み)に対し、NEQの比較から線量を半分程度に落としても同等の粒状性が得られるとの事でした。また散乱線補正処理の紹介もあり、撮影後の元画像からの散乱線除去の方法を説明して頂きました。

「CRからFPD更新に伴う撮影条件について」の会員発表では、同一メーカーでの更新を行った2施設に発表がありました。静岡市立清水病院の大瀧会員は、自施設での実験からFPDは管電圧が高くなると感度が上がる事に着目し、旧システムからの移行時に、管電圧を上げる事と線量の適正化により50~80%の線量低減を行ったとの発表がありました。聖隷三方原病院の大橋会員からは、自施設で行った物理評価実験でDQEは、FPDがCRよりも2倍近く高い値を示した事を確認し、X線量子を2倍近く有効に利用することができるシステムであるとして、CRよりも1/2程度の線量で撮影しているとの発表がありました。

「Exposure Index値の製品への応用」のセッションでは、PHILIPSの最新FPD「SkyPlate」の機器展示と同時に、EI値の製品への搭載状況についてプレゼンがあり、EI値が規格化されるまでの成り立ちから製品紹介、線量管理の方法まで幅広く説明して頂きました。PHILIPSの一般撮影系装置はすべてEI表示が可能であり、簡単に確認できるとの事でした。

特別講演では、奈良県立医科大学附属病院の中前光弘先生に「デジタル一般撮影における線量指標Exposure Index について」というタイトルで、基礎知識と臨床応用への課題について御講演をして頂きました。講演に先立ち、装置更新時の撮影条件の考え方についてアドバイスを頂きました。装置更新時には、新システムの導入前にデフォルトの撮影条件を設定する必要があり、その時点ではメーカーが公開しているDQE等のデータのある程度参考にする。大切なのは導入後に一定の期間を置いて、DQEに限らず画質全般をバランスよく再評価し、適正条件を考える事が必要なのではないかとの事でした。EI値については、 $EI=c_0 \cdot g(V)$ で定義され、具体的にEI値の算出方法を詳しく説明して頂きました。臨床画像からのEI値の求め方も示して頂き、とても勉強になりました。運用上の注意点として、EI値には変動要因があるとの事で、被写体の違いや関心領域の設定の違いなどの影響を示して頂きました。また、EI値は検出器面への到達線量をもとに算出しており、皮膚表面線量とは違うため、被ばく管理に使う場合はその特性を理解する必要があるとの事でした。IE値の基礎から応用までとても解り易く説明して頂き、大変勉強になる講演でした。

(管理士部会長 池谷 正治)

平成26年度新春公開講演会・第23回アール祭

平成27年1月24日(土)
静岡労政会館・静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

平成27年1月24日(土)静岡労政会館6Fホールにて、新春公開講演会が開催されました。参加人数は70名(正会員:41名、賛助会員:20名、一般:9名)でした。

当日は、1月としては暖かく穏やかな天気恵まれ、多くの参加者を迎え充実した内容により盛大に開催されました。

公開講演

「喫煙とがん～禁煙外来を利用してがんのリスクを減らそう～」

— 知ってほしいタバコの真実 —

講師:静岡赤十字病院 院長 磯部 潔 先生
座長:静岡赤十字病院 松島俊光 会員

公開講演では、静岡赤十字病院院長の磯部潔先生に、喫煙とがんについてご講演を賜りました。磯部先生は、消化器科の医師として食道癌の治療などに携わる中で、タバコが及ぼす影響の大きさを痛感し、現在では禁煙学会専門指導医として、院長業務に加えて禁煙外来を担当されています。

講演では、まずタバコは巧妙に作られた化学製品で、葉に様々な添加物が加えられており、煙には5300種類の化学物質、70種類の発がん物質が含まれており、化学物質のリスクランキングにおいても環境ホルモンやディーゼルなどに比べて桁違いのリスクをもつことなどを紹介いただきました。

その後で、能動喫煙や受動喫煙による影響について紹介いただきました。副流煙は低温のためリスクが高く、分煙しても効果が薄いというデータや、日本では喫煙者と非喫煙者の肺がんの発生率の差が諸外国に比べて小さいが、これは非喫煙者を取り巻く環境が悪いことが原因として考えられることなど、非喫煙者であっても知っておきたい情報を数多くご紹介いただきました。

また、禁煙医療については、いかに吸い始めをさせないかが大切で、海外ではタバコ規制枠組み条約に沿って、タバコの悪影響を示す写真をパッケージに載せたものが多いとのことがありました。しかし、喫煙者になってしまった場合には、禁煙の動機を強化し、緩徐なニコチン摂取により依存症を脱していく方法などが有効とのことでした。

最後に、日本においては食品衛生法や薬事法、PL法などあらゆる法律においてタバコが規制されておらず、行政を含めて取り組むことががんのリスクを抑え、健康で過ごしていくためには重要であることを力強くお話しされました。

講演後、一般参加者から、喫煙とがんの関係、タバコの真実について明快に解説していただき勉強になったというコメントをいただきました。

教育講演

「タルボ・ロー干渉計によるX線画像技術～スーパーレントゲンとは～」

講師：コニカミノルタ株式会社ヘルスケアカンパニー開発統括部 長東澄也 先生

座長：磐田市立総合病院 天野宜委 会員

教育講演では、コニカミノルタ株式会社ヘルスケアカンパニー開発統括部の長東澄也先生に、「タルボ・ロー干渉計によるX線画像技術～スーパーレントゲンとは～」というタイトルでご講演を賜りました。

従来のX線画像は吸収画像で、吸収差が少ない場合は描出が困難でした。そこで、X線の屈折を利用することでエッジ部分の描出能を向上させたものが位相コントラスト法と呼ばれる方法で、乳房撮影などに利用されています。タルボ・ロー干渉計とは、屈折に加えて干渉も利用することで、関節軟骨などの描出能を向上させる方法で、科学技術振興機構の支援を受けて開発中の技術であり、TV番組や新聞などメディアにも多数取り上げられています。

タルボ・ロー干渉計では、一般的なX線管球が使用可能ですが、干渉性の高いX線を取り出すためにはX線管から受像面の間に3枚の格子が必要で、撮影中に移動させる必要があります。格子には高い精度が求められ、物作りの技術が重要とのことでした。

画像としては吸収画像、小角散乱画像、微分位相画像の3種類が得られます。このうち微分位相画像が輪郭描出に有用な画像で、小角散乱画像は物体の粗密が異なる構造の差異が画像化されていると考えられますが、詳細については研究中とのことでした。

現在の試作機では8 cm角の視野をもったものがあり、海外を含めて臨床研究を進めていきたいとお話しでした。臨床的には整形外科領域におけるX線画像の高鮮鋭化、軟骨および乳房などの軟部組織の描出能向上など、疾患の早期診断への寄与が期待できるとのことです。できるだけ早く製品化できるように引き続き研究開発を行ってい

きたいと力強くお話しされていました。

第23回アール祭

新春公開講演会の終了後、静岡労政会館に隣接する静岡県男女共同参画センター「あざれあ」内1Fレストランazaleaに場所を移し、昨年と同じ会場で第23回アール祭が開催されました。参加人数は46名（正会員：21名、賛助会員：25名）でした。

最後に、会員のみならず、県技師会役員の方々、そして賛助会員の方々のご協力をいただいて無事に新春公開講演会およびアール祭を開催することができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(学術委員長 竹田 守)

平成26年度第2回静脈注射(針刺しを除く)に関する講習会 報告

平成27年2月8日(日)
中東遠総合医療センター

平成27年2月8日に中東遠総合医療センターにて、第2回静脈注射(針刺しを除く)に関する講習会を開催しました。

本講習会は日本診療放射線技師会が主催し各県放射線技師会において平成25年度より開催しています。厚生労働省「チーム医療推進方策検討ワーキンググループ」において、診療放射線技師の業務範囲の見直しに関する検討が行われ「CT、MRI検査等において造影剤投与終了後の静脈注路の抜針及び止血を行うこと」が取り上げられ、十分な教育・研修を行うことを条件に実施できる方向で検討されてきました。この度、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための法律の整備に関する法律案(医療・介護制度改革の一括法案)が平成26年6月18日に成立し、25日に公布され認可されました。これに伴い、日本診療放射線技師会は平成26年度も昨年度に引き続き各県で静脈注射(針刺しを除く)講習会を開催することとなりました。

寒さが厳しい日でしたが受講者は34名でした。その内、会員は32名、非会員は2名でした。

まず、講義はDVDを放映する形式で行いました。午前中は「静脈注射の関わる診療放射線技師の法的責任」を診療放射線技師から。「静脈注射と感染管理」を感染管理認定看護師から。午後は「薬剤(造影剤)に関する知識」を薬剤師から。「合併症への対応」を医師から。といった内容でした。その後、シミュレーターを用いた実習に入りました。まずは3人の看護師の講師の方々から抜針に際しての手技と注意点の説明があり、デモンストレーションを行いました。そして受講生を3班に分けて抜針する役、患者の役を各人が担いました。実習中はその都度、講師からのチェックが入りその場で指導を受け、患者役からは難解な

質問を受けるなど、シミュレーション通りに終えないので受講生にとっては刺激があり、皆緊張した面持ちで実習を受けていました。最後に講師から総評をいただき実習を終了としました。その後、確認テストを実施し全てのカリキュラムが終了となりました。

静脈抜針は法的な縛りが緩和され法整備が整いました。静脈抜針を診療放射線技師が実施するかどうかはそれぞれの施設の考え方によりますが、いつ何時、実施するように依頼されても良いように準備しておくことがこの講習会に参加する意義だと思います。この講習会をベースに、更に各施設において教育、研修を行い安全、安心な医療を提供するようお願いしたいと思います。

本講習会は来年度から「業務拡大に伴う統一講習会」という名称になります。内容も静脈注射講習会に加え、下部消化管検査に関する業務、画像誘導放射線治療に関する業務の講習について、全てを含めた形での統一講習会に変更となります。来年度のスタート時点では静脈注射(針刺しを除く)に関する講習会の既受講生を優先的に実施いたします。対象の皆様は奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

(生涯教育委員 曾我 隆正)

平成26年度 静岡県デジタルマンモグラフィ研修会

平成26年2月8日(土)
聖隷三方原病院 救急棟3F 大ホール

今年度初めて、静岡県デジタルマンモグラフィ研修会を、聖隷三方原病院 救急棟3F大ホールにて開催しました。

近年、マンモグラフィ装置では、デジタルシステムが急速に普及しています。静岡県においては他県と比較して普及率が高いため、今回の研修会はデジタルシステムの知識の習得や、精度を向上させることを目的としました。

【講義内容】

[乳がんの検診の精度管理およびモニタ診断の現状と意義]

浜松医科大学付属病院 小倉廣之先生
[ソフトコピー診断について]

浜松医科大学付属病院 那須初子先生
[マンモグラフィ読影のコツ]

藤枝市立総合病院 五十嵐達也先生
[デジタルマンモグラフィに用いるディスプレイについて]

バルコ株式会社 角元祐幾先生
[デジタルマンモグラフィの品質管理]

岐阜医療科学技術大学 篠原範充先生
【読影実習】

石灰化、腫瘍、構築 ハードコピーによる読影実習
ビューワに6台による、ソフトコピー診断実習

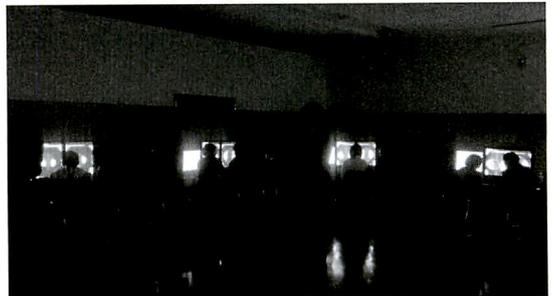


今年度初めて導入した、デジタルマンモグラフィ研修会でしたが、19名の医師、48名の診療放射線技師、臨床検査技師の方に参加して頂き、67

名で開催することができました。

全体講義に関しては、乳がんの罹患率の推移や、乳がん検診受診率の現状などといった疫学的な内容や、ソフトコピー診断における注意点、読影のコツ、ディスプレイの基本的な内容からデジタルマンモグラフィの精度管理まで幅広い内容を講義して頂きました。参加頂いた方には、満足度の高い内容だったと思います。

読影実習では、従来のハードコピーによる読影実習を行い所見の知識を深めて頂き、今回新たにビューワ6台を用いたソフトコピー診断の体験を行いました。



ソフトコピーでは、CAD解析画像や、トモシンセシス画像も閲覧して頂き、最新の画像診断を体験して頂きました。

今回の研修会はデジタルの内容に特化した内容で開催したため、デジタルの知識を増やして頂けたと思います。アンケート結果からも満足度が高く、今後もこのような研修会を開催して県内のマンモグラフィに携わる方の知識、技術の向上に努めていきたいと思っています。

講習会開催に関して、ご尽力いただいた読影医の先生方、遠方よりご講演頂いた先生、業者様、会場を提供していただいた皆様、参加者の皆様ありがとうございました。

(乳腺画像部会 聖隷予防検診センター 齋藤 忍)

第25回乳腺画像部会・第63回超音波部会乳腺についての合同研修会 報告

平成27年2月14日(土)
浜松労災病院

平成27年2月14日浜松労災病院にて、第25回乳腺画像部会・第63回超音波部会、合同研修会を開催いたしました。参加者人数は48名でした。

【内 容】

[メーカー講演]

『最新の超音波診断装置』

東芝メディカルシステムズ

[会員発表]

『乳腺超音波始めてみませんか?～超音波の基礎と症例～』

島田市立病院 廣澤 和美 会員

静岡県立病院 早坂 みさを 会員

『マンモグラフィの基礎～今さら聞けないポジショニング～』

聖隷三方原病院 河合 陽子 会員

[特別講演]

『読影医が求める乳腺画像について』

浜松医科大学附属病院

放射線科 那須 初子 先生

メーカー講演では、生体組織に圧迫を加え、横方向伝わったせん断波の伝播速度の違いにより組織の硬さの空間的分布をカラーで表示させる技術や、生検時に針先強調表示により針を強調して表示する技術についてご講演いただきました。

会員発表では、超音波の用語の解説をしていただき、その後、症例を提示していただきました。症例では、マンモグラフィも併せて提示いただき、超音波検査を行っていない技師にも大変わかりやすい内容でした。

マンモグラフィの基礎ではポジショニングで最も重要となる『広い範囲を広げて撮影をする』ために大切なポイントを解説していただきました。マンモグラフィに描出されない病変はどんなに優れた読影医にも診断することは不可能であるため、

ポジショニングの善し悪しが診断の精度に繋がることを理解し、撮影を行わなければならないと感じました。

特別講演では那須先生に、乳腺組織がいかに広い範囲に存在するのかをCT画像で示していただきました。それを理解し、意識して検査することが重要となる症例を提示していただきました。

また、検査を行う前にCTなどの他モダリティ画像を見ることで、さらなる情報が得られ、病変を見落とすことのない検査を行う必要があると思えました。

合同研修会開催に関して、ご尽力いただいた那須先生、業者様、会場を提供していただいた浜松労災病院の皆様、参加者の皆様ありがとうございました。

(乳腺画像部会 中東遠総合医療センター

神谷有希)

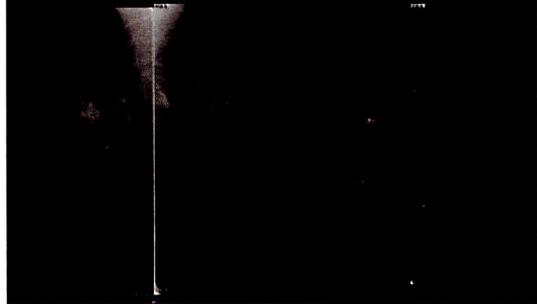


乳腺についての合同研修会
 第22回乳腺画像部会・第62回超音波部会合同研修会
読影医が求める乳腺画像

浜松医科大学放射線科
 那須初子

浜松医科大学 放射線科

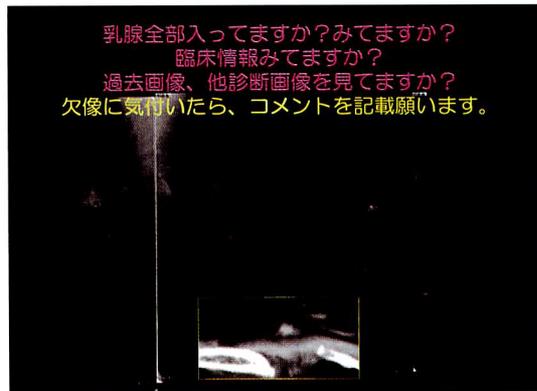
左乳房腫瘍疑い
 ○○にて当院フォロー中。201△年×月×日CTにて左A
 領域にmass指摘された。読診上はn.p.



問題の腫瘍は入ってない？！



乳腺全部入ってますか？みってますか？
 臨床情報みってますか？
 過去画像、他診断画像を見えますか？
 欠像に気付いたら、コメントを記載願います。



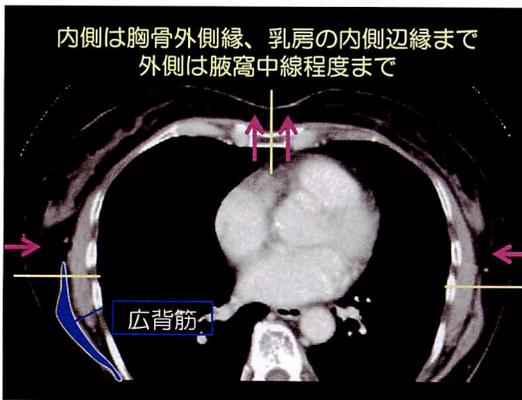
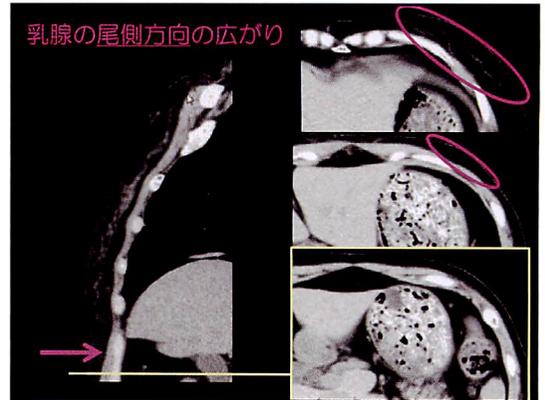
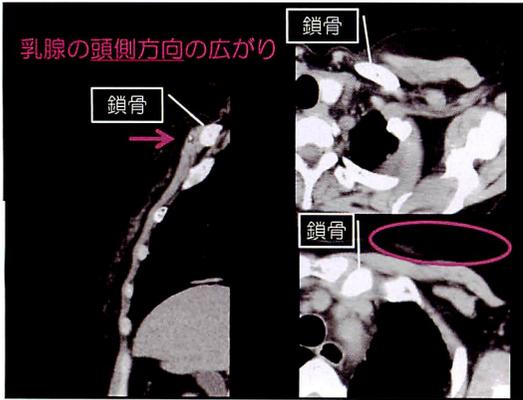
右Bp+SNB後1年 pT1NOMO a3(硬癌)
 US MMG 定期フォロー

右乳房温存術部 問題なし
 左乳房に明らかな異常なし
 腫大リンパ節なし

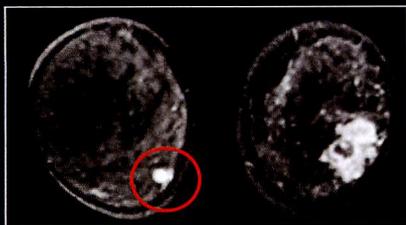
検査後、報告書を記載するため過去USレポ
 ートを参照した際に、気付いた。。

術前USで、左乳房
 B領域辺縁部に線維
 腺腫7mmが指摘さ
 れていたが、今回ス
 ルーした。

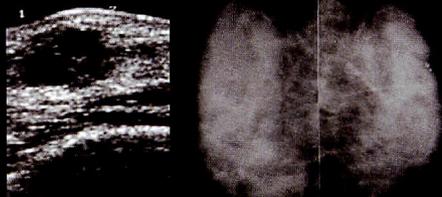




左乳癌精査目的の乳腺MRI後に、
再度US検査をして、US下に生検を行い、
右も乳癌と診断された。



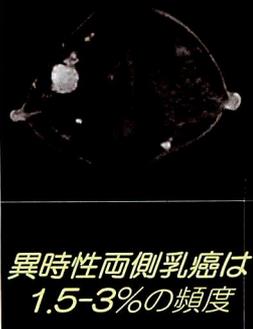
乳腺全部みてますか？
一つ病変みつけて安心していませんか？
過去画像、他診断画像を見ますか？
1度目のUSでは、右乳癌をスルーしてしまった



右乳房下部の1cmの乳癌

同時性両側乳癌は
0.1-3%の頻度

異時性両側乳癌は
1.5-3%の頻度



右FADは再撮で消失⇒正常乳腺の重なり
その画像、説得力ありますか？



その画像、説得力ありますか？

- 同じ患者さんを同じ日に検査
- ✓フォーカス位置の違い
 - ✓エコーレベル・輝度の違い
 - ✓プローブのあて方の違い

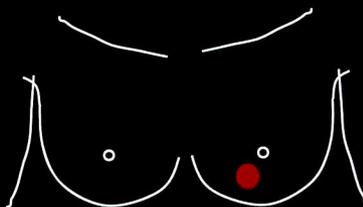
経験者

初学者

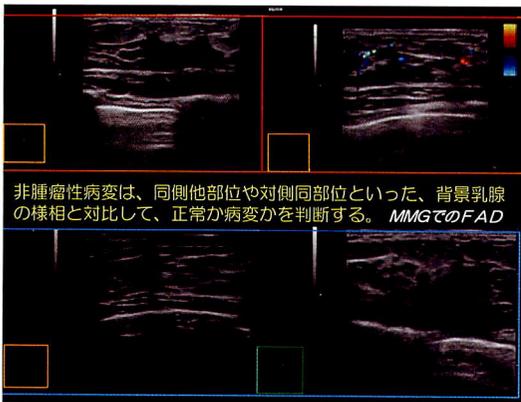
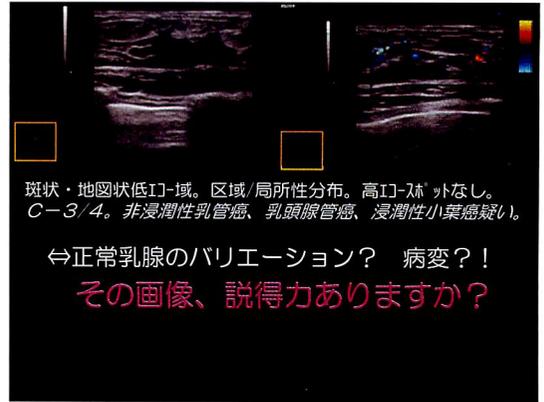
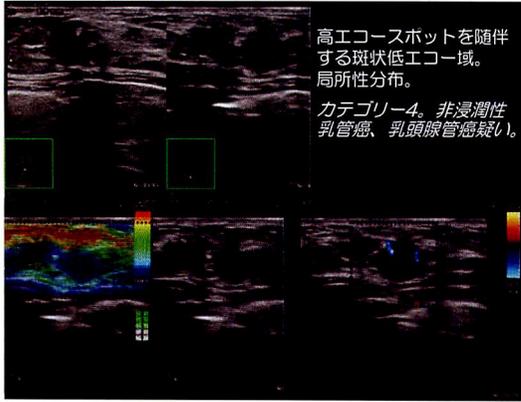


40歳代 女性

- ✓左乳房腫瘤自覚。



- ✓左B領域7時半 NTD25mm
- ✓35×35mm程度の不整形腫瘤



よい検査のコツ 被検者さんを‘味方’につける

- ✓ 被検者さんにとって快適な室温、遮蔽
- ✓ 笑顔、穏やかな声
- ✓ 適宜声かけ・問診
- 複数回尋ねないと、検査中に訴えないこともしばしば

→検査に協力的になる ⇒ よい画像が得られる
→次回も検査を受けに来てくれる
→自らのスキルアップにつながる

22 浜松医科大学 放射線科

よい検査のコツ 周囲の人を‘味方’につける

- ✓ 100%の画像診断はない
- ✓ エラーを指摘、カバーしあえるような職場環境

Win-winの関係を築く

123 浜松医科大学 放射線科

読影医が求める乳腺画像 本日の内容まとめ

- ✓ 乳腺全部みえますか？
 - 鎖骨～乳肩下縁よりもう一歩下、胸骨～腋窩中線まで
- ✓ 病変一つ見つけて安心してませんか？
 - 同時性・異時性両側乳癌
- ✓ 過去画像、他診断画像見えますか？
 - 標的病変が含まれているか確認を
- ✓ その画像、説得力ありますか？
 - 偽陽性、偽陰性をつくらない

24 浜松医科大学 放射線科

第43回アンギオ部会研修会・第2回静岡MRI技術研究会 合同部会報告

平成27年2月14日(土)
静岡市ペガサート

日本列島を寒気が覆い今年一番の冷え込みとなった平成27年2月14日土曜 静岡市ペガサートにて第43回アンギオ部会研修会・第2回静岡MRI技術研究会合同部会が開催されました。

今回は、合同研究会ということで、『頭部領域』をテーマに、共催メーカ情報提供・症例報告・基礎講演・教育講演という盛りだくさんの内容で行いました。



基礎講演MRI「Arterial Spin Labeling臨床への適応」と題して、磐田市立総合病院 寺田理希会員に発表して頂いた。ASLの概念、ラベリング方法の違いなど基礎的な内容を分かり易く説明して頂いた。また3D-ASLは、pCASLというラベリング効果の高いadiabatic pulseによるラベリング方法であり、3D-FSEでradial収集する事で歪みの少ないS/Nの高いシーケンスを採用し、モーションアーチファクト軽減に4つのinversion pulseを用いたバックグラウンドサプレッションにて脳脊髄液などの動きを抑制することで、良好な3D-ASLを撮像している。症例では、tPA前後での血流評価やCAS前後の血流評価、脳腫瘍・脳転移放射線治療前後での血流評価を説明して頂

いた。3D-ASLは、簡便で有用な撮像シーケンスであるが、さまざまな技術的要因を理解して撮像し、左右差があったり所見があれば必ず他の画像で確認するとヒントが隠れているので、そこまで理解して放射線技師が責任を持って画像を提供するとのことでした。

基礎講演CT「CT750HDを用いた頭頸部CT-AngiographyとCT-Perfusion」と題して、順天堂大学医学部付属静岡病院 平入哲也会員に発表して頂いた。施設の現状に始まり、頭頸部CTA検査の目的や特徴、各造影法BT法・TI法・TBT法の利点と欠点、CTAとMRAの利点と欠点を話して頂いた。また、高分解能モード・デュアルエネルギー・メタルアーチファクト補正ソフトMARSの臨床利用を綺麗な症例画像と共に説明して頂いた。CTPにおいては新たな目的として、くも膜下出血後の遅発性脳梗塞を評価するためにSAHの症例では、CTPを施行しているとの事であった。CTPの解析方法は、ワークステーションにより結果に相違があるため、その特徴を理解すること。またb-SVD法は、造影剤の遅延効果を加味した解析法であるが、左右の血流の還流遅延時間に差がない場合は、補正をかけ過ぎてしまう可能性があるため病態により解析方法を選択した方が良いとの事であった。Drの要望や症例に合わせ最良の方法を模索する事が大切であるとの事でした。

基礎講演RI「神経変性疾患における核医学検査の臨床利用について」と題して、静岡県立総合病院 孕石圭会員に発表して頂いた。今回は、神経変性疾患の中でもパーキンソン病・パーキンソン症候群・アルツハイマー病・レビー小体型認知症に対しての病態や、 ^{123}I -IMP・ ^{123}I -ミオMIBG・

新しい製剤¹²³I-DaTSCANの薬物動態など基礎的なところから詳しく症例を提示して説明して頂いた。認知症における脳血流シンチの有用性は、脳血流低下パターンにより早期に分類する事であり、その後の診療に重要である。脳血流シンチ¹²³I-IMPは、レインボー表示画像での視覚評価だけでなく、統計解析(3D-SSP)を行いZSAMソフトを使用し診断しているとの事でした。¹²³I-ミオMIBGは、心臓の交感神経機能を評価し集積の違いによりパーキンソン病・パーキンソン症候群の鑑別、またレビー小体型認知症を診断する。¹²³I-DaTSCANは、正常な黒質線条体末端でのドパミントランスポータに薬剤が結合するため脱落時は、集積低下を認める。ドパミントランスポータの有無を知る事でパーキンソン症候群・レビー小体型認知症を診断するとの事でした。



教育講演「ガンマナイフと脳神経外科領域における画像診断」と題して、熱海所記念病院脳神経外科ガンマナイフ部長 中谷幸太郎先生にご講演して頂きました。使用装置ガンマナイフPERFEXIONは、定位脳手術の一種で⁶⁰COペレットを192個円錐状に配列し、中心の1点にガンマ線が集中する様に設計され、目標病変を高線量照射し治療する装置であり、AVM・AVF・海綿状血管腫・聴神経腫瘍・髄膜腫・良性腫瘍・がんの転移性腫瘍・グリオーマなどが適応疾患であるとの事でした。また、腫瘍が判別可能か、適応範囲内か、経過観察できるかも治療決定に左右さ

れるとの事でした。CT・MRI・AGでの治療計画が可能で、解像度が良いMRIが有用とされ造影3DSPGRを全脳撮像しMPRにて3断面となる様に作成している。内耳道内や小脳狭角部の腫瘍にはFIESTA画像を撮像し、海綿状血管腫にはT2*強調画像、転移性脳腫瘍には、パーフェュジョンにて再発をCVBの増大があるかを見て評価し照射範囲を決定したりもしている。実際に行っている様子が多くの写真から理解でき、分かりやすく説明して頂きました。また、症例画像も多数提示して頂き、経過を追って良好に腫瘍が縮小しコントロールされている画像から、優れたガンマナイフPERFEXIONの治療効果を知ることが出来ました。多いもので1度に40ヶ所以上の多発転移性脳腫瘍の治療もされていたり、術後播種を予防する意味で開頭手術前に照射したりもするとの事でした。普段なかなか知ることのできない貴重な講演でした。

今回は、講演者およびメーカーを含め77名の方々に参加して頂き、活発な質疑も行われ大盛況のうちに終えることができました。今後も多くの会員の皆様に参加していただける研究会となるよう努力してまいりますので、多数の参加をお待ちしております。

(MRI部会 内田知宏)

第43回アンギオ部会研修会・第2回静岡MRI技術研究会合同研究会

2015年2月14日 バイエル薬品株式会社 R&I事業部 中日本エリア学術 中川 裕幸

最近公開された各種ガイドライン・諸文献について振り返り、転移性肝癌の画像診断についての内容をまとめたものを紹介する。

1) CT編

- ・転移性肝癌は原発巣による肝転移診断の目的が異なることは、様々な研究やガイドラインから既にコンセンサスが得られており、大腸癌においては肝転移の有無の正確な診断と共に肝切除を前提とした病変の個数や拡がり診断が重要となる。
- ・MDCTは1回のスキャンで胸腹骨盤部を同時に評価でき、良好な診断能が得られることから病期診断またはフォローアップの中心的モダリティと考えられ、標準的な画像診断として位置づけられている。
- ・肝転移診断における造影CTの動脈相追加の有用性がガイドライン等において以下のように謳われている。
 - ①転移性肝癌の切除可否の評価については、肝転移巣の数、大きさ、場所の正確な診断が重要である。
 - ②肝転移のスクリーニングにおいて、動脈相を追加することで、小転移巣 (<10mm) を検出できる可能性がある。
 - ③多血性転移だけでなく、乏血性の転移であっても動脈相の追加により検出能が改善する可能性がある。

2) MRI編

- ・大腸癌肝転移診断におけるEOB-MRIの役割は、まず躯幹部広範囲造影CTを施行し、肝臓に結

節が疑われた場合には、前述目的でEOB-MRIを施行し、肝転移巣を遺残なく切除可能かどうかを見極める方法が浸透しつつある。

- ・造影CT単独と比較し、EOB造影MRIの追加併用は、大腸癌肝転移における診断能の改善をもたらすと共に約1/3の患者で治療方針が変更を示す報告があり、患者の予後や生存の改善をもたらす可能性がある。
- ・近年の分子標的薬の開発に伴い、大腸癌に対する化学療法によって良好な成績が得られるようになった。

肝転移については切除不能と診断された大腸癌肝転移症例が、conversion therapyによる腫瘍縮小によって切除可能となる症例増加がみられるが、問題点として肝への脂肪沈着を生じ、その影響によりCTによる病変の評価では肝実質の吸収値が低値を示すため、特に微小な (<10mm) 転移性病変が不顕在化される可能性がある。

- ・EOB造影MRIは造影CTよりも脂肪沈着等の影響を及ぼすことなく、検出個数の改善が可能で治療方針に大きな影響を与え得ると報告されている。

3) 撮像関連

- ・肝細胞相の撮像時間の短縮については、肝機能の良好な症例では10分から15分で十分なコントラストが得られ、特に肝転移においては10分でもかなり良好なコントラストが得られている。

参考資料

画像診断ガイドライン2013年度版, Honda Y et al.:JJR(2014), Sofue K et al.:Eur Radiol (2014)

平成26年度 第3回 理事会 議事録

1. 開催日時 平成 26年 12月 6日 (土)
14時～16時50分
2. 場 所 静岡県放射線技師会事務所
静岡県葵区本通1丁目3番地5
フェリス本通り202号
3. 理 事 15名 監 事 2名
4. 出席者
和田 健、望月 茂、山本英雄、八木秀視、
酒井公敏、鈴木健一郎、赤池正久、柴田純一、
荒井 準、市川和秀、田中 章、望月浩正、
片山善博、佐々木英治、竹田 守、
窪野久行 (監事)、近藤 仁 (監事)
欠 席 者
蒔田鎮靖 敬称略

(1) 会長あいさつ

インフルエンザが流行し始め、皆様もお体には十分気を付けてください。今期の理事会も3回目となり、新執行体制で3分の2経過し、あと残り3ヶ月となりましたがまだ多くの企画が残っています。新春公開講演会、アール祭、東海四県学術大会、部会のセミナー、各地区の胃がん検診エックス線従事者講習会等のセミナー、当会の来年度の事業計画を決める第4回理事会、また各地区総会等ご協力をお願いします。昨今、企画に参加する会員が少なく、会員、非会員が多く参加するような企画を立てたい。平成26年度第3回理事会を開催いたします。

定款第34条第1項により、和田会長が議長に就任いたしました。

定款第36条第4項により、議事録作成人 鈴木常任理事が指名されました。

(2) 報告事項

① 会長報告 和田会長

大分で第30回日本診療放射線技師学術大会で全国地域委員会議 (旧全国会長会議) が二日目に開催され、中澤会長の挨拶で大分県江藤大会長はじめ実行委員の精力的な運営、各47都道府県のご支援ご協力により盛大に開催された謝意の言葉を頂いた。口述発表が309演題、示説発表131演題、インターセッション54演題、二日目に報告があった。参加者1458名、事前登録数が228名、計1686名の中間報告があった。中澤会長より業務拡大に関する講習会を平成27年度の4月から全国診療放射線技師 (技師会入会問わず) 約51000人を対象に実施計画そして指導者統一講習会を計画していきたいと述べられた。診療放射線技師の公明党の議員懇話会を立ち上げ、会長に公明党の石田先生が就任された。新規で岐阜県内に診療放射線技師を養成する短期大学設立の要請があったが岐阜県には岐阜医療科学大学があり、近隣にも養成施設があり、現在4年制の大学が増えていく中で短期大学を増やすのは如何なものかとのことで現有の短期大学内に放射線技術科設立は平成27年度見送りと思われる。

I. 医学物理士の国家資格化

各都道府県の診療放射線技師会長に意見を求めた。まず、医学物理士の国家資格化に賛成か反対か? 中澤会長より、放射線治療6団体の協議会で医学物理士の国家資格化の要望が出て日本診療放射線技師会に意見を求められたところ代表理事、業務執行理事、総務、財務、学術担当理事意見集約を行い、会議において反対の意見を出した。これを踏まえて本会としても反対の意見を出した。平成25年4月2日に参議院である民主党議員から参議院議員長宛てに質問書を出している。重粒子線がん治療にあたっては設備、整備等合わせて放射線治療医、医学物理士等の医療従事者の確保、育成も大きな課題としてあげられています。平成24年、我が国の医学物理士認定者数は673名です。それに比べ米国では2004年時点で既に約4000名の従事者が数えられている。人口比を加味しても我が国の絶対数は不足していませんか? もうひとつ

は平成20年度の診療報酬改定では特定の放射線治療を行う機関の施設基準に医学物理士が認められました。今後こうした医療従事者の処遇について国家資格も含めどのように取り組んでいくつもりですか？という2つの質問に対して平成25年4月12日に安倍晋三内閣総理大臣が回答した。2番目の質問に対して我が国と米国とでは重粒子線がん治療に限らず放射線治療に関する医療提供体制、放射線治療の対象となる患者数等が異なると考えられることから米国と比べては我が国の放射線治療に携わる医療従事者の絶対数が不足しているかどうかについて一概にお答えすることは困難である。3つ目の質問の答弁書でお尋ねの医学物理士等の医療従事者の労働条件については労働基準法等の関係法令に基づき当該医療従事者が勤務する医療機関と当該医療従事者との間の契約で決められるものと承知している。また、お尋ねの医学物理士を国家資格とすることは考えていない。

II. 議員懇談会の立ち上げ

政策実現のために自由民主党の診療放射線技師に関する議員懇談会の立ち上げ、平成26年11月4日に東京で開催した。和田会長は欠席。趣旨は中澤会長が自由民主党の鴨下一郎先生（医師であり診療放射線技師の議員懇談会の会長）に自由民主党診療放射線技師制度に関する議員懇談会の創設の依頼をした。依頼内容は、さて、最近の医療技術の進歩は著しくまたその普及速度も一段と速まっております。そのためには医療職種の職務見直しを行うとともに、チーム医療の確立を図ることが重要とされています。我々診療放射線技師においても業務拡大が叫ばれており、安全安心の医療を目指して日夜研鑽に励んでおりますが、我々の身分法については、時代の変化とともに枝葉部での改定はされたが幹部分では昭和26年制定のままであります。一方診療放射線技師養成機関学校については約70%が大学となりましたが、まだ3年制専門学校が存在しており、医療従事者の確保と有効利用の観点から医療系職種の大学及び大学院を充実させ高度医療推進の国家的養成に答えら

れる人材の養成と確保が望まれています。以上から、診療放射線技師業務に関して多くの問題点が山積している現状を踏まえて、表記議員懇談会の創設をお願い申し上げます。8項目を要望している。

1. がん対策推進基本計画の基づく診療放射線技師育成の充実及び環境整備

要望事項

- (1) 放射線療法領域における診療放射線技師の配置体制の強化と評価
- (2) がんプロフェッショナル養成プランにおける診療放射線技師の大学院教育の充実
- (3) がん検診に従事する診療放射線技師の充足
- (4) 診療放射線技師法第26条の改正

2. チーム医療を推進するための診療放射線技師の活用

要望事項

- (1) 診療放射線技師業務の役割拡大に伴う研修会の受講可能な環境整備
- (2) 診療放射線技師の役割拡大に関する法改正ならびに省令改正の早急実施
- (3) 診療放射線技師業務の役割拡大に伴う診療放射線技師学校養成指定規則の変更

3. 医療安全のための適切な管理体制の構築

1) 医療放射線による被ばくの管理体制

要望事項

国民が健診を含めた放射線診療を安心して受けられる環境や体制整備、放射線の安全に関わる法整備また、専門職（放射線管理士等）の有効活用

2) 放射線関連医療機器の管理体制

要望事項

- (1) 重点保守管理機器として6種類の医療機器の追加
- (2) 医療機器を管理するため、本会が認定している放射線機器管理士の活用
- (3) 画像データの管理体制

要望事項

- (1) 本会が認定している医療画像情報制度管理士

の活用

- (2) 診療報酬における総合的な画像管理技術の評価として「画像精度管理料」の新設

4. 国家試験委員の構成について

要望事項

- (1) 試験委員は診療放射線技師を主体として構成する
(2) 試験委員長には、診療放射線技師をあてる。当面の間は、副委員長を2人体制とし、1人は診療放射線技師とする

5. 養成教育の4年制大学化への移行及び卒後臨床研修の制度化

要望事項

- (1) 診療放射線技師教育のカリキュラムの見直し
(2) 診療放射線技師教育の4年制大学化と教育内容の抜本的見直し
(3) 卒後臨床研修の制度化

6. 緊急被ばく並びに医療被ばくに対するための専門官の配置

要望事項

放射線被ばく個別相談事業等に取り組むため診療放射線技師の活用

7. 放射線の教育・普及啓発活動に対する診療放射線技師の活用

要望事項

- (1) 学校教育における放射線教育のあり方を検討し、放射線に対する普及啓発活動
(2) 教育担当者として、医療職でもある診療放射線技師の活用

8. 診療放射線技師法の改正

要望事項

現在の高度な医療現場や多職種連携医療（チーム医療）の実践のために、また、診療放射線技師の有効な活用のためにも、診療放射線技師法の抜本的な改正のための委員会設置を要望する。

また、ぜひ次回は畔元さんに参議院で当選して診療放射線技師の身分改正、様々な問題点を早く解決して頂きたい。

Ⅲ. 文部省及び厚生労働省との診療放射線技師教育の臨床実習のあり方について

中澤会長より診療放射線技師の質の向上、教育水準の向上のためにも各養成校の判断に任せられている臨床診療実習行為について厚生労働省及び文部科学省において検討会を設置していただき、医師、歯科医師、看護師等の同様に一定条件下で基本的な臨床実習行為の水準を定めていくように要望する。診療放射線技師のことがわかる本をUSBでデータを頂き、静岡県放射線技師会ホームページに掲載する予定。

Ⅳ. 中日本地域の診療放射線技師会長会議

11月1日に第7回CCRT会場（名古屋）であった。佐野会長から参加人数は一般市民を入れて1174名、県民公開講演に一般の方が197名入って約千人弱が参加し非常に盛大に行われた。静岡でのCCRTの時は741名であった。演題数も179題、ランチョンが8社、来年第8回CCRT（中部医療放射線技術学術大会）は福井県が当番県、平成27年11月7日、8日、AOSSAというコンベンションセンターで行う予定。大会長が放射線技術学会から足立会長、大会副会長は福井放射線技師会の福島会長でテーマは「挑む更なる高みへその先へ」、参加予定人数450人、緊急被ばく医療をテーマにする内容を予定、シンポジウムになったら静岡からも要請があれば出る予定。日本放射線技師会の理事会から佐野副会長（愛知県）より4月から法改正に伴う統一講習、具体的には注腸、ネラトンの挿入、静脈注射の抜針等の話があった。CTCで放射線技師がガスを入れるのは医療行為となるため違法である。また、CCRTの輪番制が決まっていて福井県（平成27年）の次は岐阜県（平成28年）その次は三重県（平成29年）となる。しかし、岐阜県は平成28年度の2月に東海四県学術大会当番で9月に日本診療放射線技師会学術大

会予定のため、11月のCCRTの日程を変更した。そのため、平成28年度は三重県が当番県で平成29年度は岐阜県が当番県となった。

V.新しい情報システムJARTISの課題

日本放射線技師会の小川副会長から新しい情報システムのJARTIS課題について

データベース委員会並びに事務局では情報システム（JARTIS）稼働後に発生している課題の解決並びによりよい情報管理運用をめざし平成27年度の改修項目案を整理、議論しているところです。本システムは本会のみならず、都道府県技師会並びに会員とも協働で管理運用をさせていただいていることから都道府県会長各位のご意見を踏まえ議論を展開して参りたいと考えています。和田会長から柴田庶務会員管理理事にお願いした。課題は会員登録内容変更について、具体的にJARTの会員から登録内容に変更があった場合、JARTから登録情報変更のお知らせが届く。JARTISにログイン後、会員の変更以前の情報と変更後の情報を比較して確認するのですがどこを変更したかわかりにくい。監査履歴の内容、変更した内容をより明確に表示できるようなシステムにして頂きたいと小川副会長に要望した。

会長報告の中でご質問があればお受けいたします。→なし

東部：望月副会長

・委員会報告

I 生涯教育委員会

11月1日に開催された中日本地域教育委員会において来年度の事業の担当が決定した。基礎講習は「消化管撮影」となった。日程は10月から12月の期間行う予定。CCRTは福井県が担当で平成27年11月7、8日。東海四県は岐阜県が担当で平成28年2月11日フレッシュャーズセミナーは各県で開催です。

II 医療安全推進委員会

① 第35回静岡ふれあい広場：医療被ばく相談

を開設し、合計8名の相談に対応した。

② 医療安全セミナー：12月13日に静岡県放射線技師会事務所にて行う予定。今回は「放射線検査等に関する説明と相談を行うこと」がテーマ。

III 企画調査委員会

平成26年度 静岡県放射線技師研修会

平成27年3月14日（土曜日）14:00～19:00

会場は静岡県産業経済会館 第一会議室にて行う。

- 1 メーカーによる最新の機器、技術の紹介
- 2 特別講演 仮演題「超音波検査における読影の留意点」16：10～17：10
講師 静岡県がんセンター検査科副技師長
米山 昌司 先生
- 3 シンポジウム テーマは「超音波検査における読影補助について考える」

IV 情報管理委員会

【報告事項】

H26/8/4～11/8 求職求人掲載2件、求職求人掲載削除1件、ホームページ更新50件

H26/8/30 第2回理事会にて、イントラネットサーバー更新に伴うCAL増設と静岡県技師会ホームページに、技師会イントラネットカレンダーの閲覧機能と技師会事務所予約機能の追加を提案し了承される。

H26/9/5 静岡県技師会ホームページにマンモグラフィ講習会のバナー作成

H26/9/9 イン트라ネット新サーバーに移行完了、CALも5CAL増設完了

H26/9/12 編集委員用イントラネットアカウント5名分増設

H26/9/23 イン트라ネット新サーバーマニュアルを作成し、役員にメールで配布

H26/10/28 静岡県技師会ホームページに「県民の皆様へ」とする公開講演の会告スペースを作成
H26年11月～12月（予定）ホームページ作成講習会開催

H26年11月～12月（予定）ホームページカレンダー機能増設検討会開催

【協議事項】 なし

VI 災害対策委員会

11月29日に平成26年度原子力緊急時災害対策研修会及び技師のためのセミナーが実施された。参加者 会員29名、非会員2名、一般3名。平成26年度地震対策オペレーション2015（大規模図上訓練）が実施されます。12月2日大規模図上訓練説明に参加する。内容は放射線被ばく相談を行う。静岡県放射線技師会より2名の参加要請があった。平成26年度静岡県原子力防災訓練が実施予定。12月15日に平成26年静岡県原子力防災訓練企画調整会議が行われる。訓練当日は静岡県放射線技師会スタッフがスクリーニングを行う。場所は浜松と静岡の2か所で行う。各2名程度、合計4名の静岡県放射線技師会への参加依頼がきている。

GMサーベイメータの校正に関する事項

現在放射線技師会にある3台のGMサーベイメータは以前どこかで使用していたサーベイメータである。このサーベイメータを技師会が無料で頂いたものシリアル番号もなく修理対象外のサーベイメータであることが判明した。よって今回のサーベイメータの校正は行わない。今後残りの2台についても同様といえる。

和田会長

表彰審査委員会について

平成26年11月29日に静岡県放射線技師会事務所で表彰審査委員会が開催。平成26年度、日本診療放射線技師会の永年勤続者の候補者についてリストを挙げた。小池審査委員長から50年永年勤続者の該当なし。30年永年勤続者の対象者21名、そのうち申請の意思のある方が9名の届け出を出す予定。叙勲候補者の件について平成27年度5月表彰者の書類の提出をした。平成27年度後期の申請はなし。

中部：八木副会長

報告事項及び協議事項なし。

西部：山本副会長

部会報告

I 超音波部会

「第62回超音波部会研修会」

【日 時】 平成26年10月4日（土） 15：00～

【場 所】（公社）静岡県放射線技師会 事務所

【参加者】 32名（会員23名 非会員9名）

【内 容】 症例発表会

演題1、特異的な症状を呈した大腸癌の症例

鳥田市民病院 辰巳勝之

演題2、成人の腸重積の一例

菊川市立総合病院 戸塚 敏

演題3、中皮腫の症例

静岡済生会総合病院 奥川 令

演題4、拘束型心筋症の一例

静岡県立こども病院 藤下真澄

演題5、左腋窩にリンパ節の腫脹を認めた

乳児の検討

中東遠総合医療センター 春田孝博

演題6、当院で経験した限局性結節性過形成の一例

静岡市立清水病院 佐野文香

演題7、左季肋部痛の一例

藤枝市立総合病院 溝口賢哉

演題8、腹部超音波検査が契機となって発見

された腹部三重複癌の一例

富士市立中央病院 澤口信孝

「第63超音波部会研修会・第25回乳腺画像部会合同研修会」 予 定

【日 時】 平成27年2月14日（土） 14：00～

【場 所】 浜松労災病院

【内 容】

メーカー講演

『超音波の基礎』

超音波部会員

『内容は未定』

乳腺部会員

『マンモグラフィの基礎 ～今さら聞けないポジショニング～』

聖隷三方原病院 画像診断部 河合陽子

特別講演

『読影医が求める乳腺画像について』

浜松医科大学付属病院 放射線科 那須初子先生

* 福島での、超音波甲状腺検査は今年度も継続して協力していく予定です。10月29、30、31日（3日間）奥川部会長が参加。

* 第33回東海超音波研究会を3月22日に名古屋で行います。今回は静岡県が当番県、部会委員総出で参加する。

II 乳腺画像部会

「第14回静岡県マンモグラフィ撮影技術講習会」

【日 時】平成26年12月6日（土）～7日（日）

【場 所】静岡県立総合病院

【受講生】50名

【内 容】「静岡県デジタルマンモグラフィスキルアップ勉強会（旧事前講習会）」

【日 時】平成27年2月8日（日）8：30～

【場 所】聖隷三方原病院

【内 容】検討中

「第25回乳腺画像部会・第63超音波部会研修会合同研修会」予定

【日 時】平成27年2月14日（土）14：00～

【場 所】浜松労災病院

【内 容】

メーカー講演

『超音波の基礎』

超音波部会員

『内容は未定』

乳腺部会員

『マンモグラフィの基礎 ～今さら聞けないポジショニング～』

聖隷三方原病院 画像診断部 河合陽子

特別講演

『読影医が求める乳腺画像について』

浜松医科大学付属病院 放射線科 那須初子先生

III アンギオ部会

「第42回 アンギオ部会研修会」

【日 時】平成26年10月18日（土）14：00～

【場 所】パルシェJR静岡駅ビル7階
（第一会議室）

【参加者】22名

【内 容】

メーカー講演「非イオン性等浸透圧造影剤 ビジパークの有用性について」

第一三共（株）佐々木 達 先生

会員講演

「シーメンスアンギオ装置導入について

富士市立中央病院 井出 会員

「Allura Clarityの使用経験」

中東遠総合医療センター 中山 会員

特別講演「急性脳主幹動脈閉塞に対する最近の治療の進歩」

中東遠総合医療センター

脳神経外科統括診療部長 市橋 鋭一 先生

「第43回 アンギオ部会研修会・第2回静岡MRI技術研究会合同研究会」予定

【日 時】平成27年2月14日（土）14：00～

【場 所】ペガサート6F B-nest
プレゼンテーションルーム

【内 容】共催メーカー情報提供

バイエル薬品株式会社

基礎講演

1. 症例報告「ハイブリッドORにおけるTAVI症例について（仮）」

聖隷浜松病院 放射線部 吉田 賢志 先生

2. MRI「Arterial Spin Labelingの臨床への適応（仮）」

磐田市立総合病院 第1放射線診断技術科

寺田 理希 先生

3. CT 15：40～16：10「頭頸部CTAngioおよびCTPerfusionにおける撮影技術と臨床応用（仮）」

順天堂大学医学部附属静岡病院 放射線科

平入 哲也 先生

4. アンギオ 16:10~16:40 「頭頸部領域IVRとコーンビームCTの実際 (仮)」

中東遠総合医療センター 診療放射線室

5. RI 16:40~17:10 「神経変性疾患における核医学検査の臨床利用について (仮)」

静岡県立総合病院 放射線技術室

孕石 圭 先生

教育講演

「術前に脳神経外科医が必要とする画像と機能情報 (仮)」

IV MRI 部会

第1回 静岡県MRI技術研究会 (MRI部会研修会)」

【日 時】平成26年10月25日 (土) 13:00~

【場 所】静岡県教育会館 4F B会議室

【参加者】会員 47名 非会員 22名 合計69名

【内 容】

情報提供 「MRI装置の最新情報について」

東芝メディカルシステムズ (株)

基礎講演 「MRI装置の安全性について」

浜松医療センター 有谷 航 会員

県立総合病院 大川 剛史 会員

技術講演① 「前立腺・膀胱のMRI撮像技術」

技術講演② 「婦人科骨盤MRI撮像技術」

教育講演 「婦人科領域の画像診断」

「第2回 静岡MRI技術研究会・第43回 アンギオ部会研修会合同研究会」 予定

【日 時】平成27年2月14日 (土) 14:00~

【場 所】ペガサート 6F B-nest

プレゼンテーションルーム

【内 容】

共催メーカー情報提供 バイエル薬品株式会社

基礎講演

1. 症例報告 「ハイブリッドORにおけるTAVI症例について (仮)」

聖隷浜松病院 放射線部 吉田 賢志 先生

2. MRI 「Arterial Spin Labelingの臨床への適

応 (仮)」

磐田市立総合病院 第1放射線診断技術科

寺田 理希 先生

3. CT 15:40~16:10 「頭頸部CTAngioおよびCTPerfusionにおける撮影技術と臨床応用 (仮)」

順天堂大学医学部附属静岡病院 放射線科

平入 哲也 先生

4. アンギオ 16:10~16:40 「頭頸部領域IVRとコーンビームCTの実際 (仮)」

中東遠総合医療センター 診療放射線室

5. RI 16:40~17:10 「神経変性疾患における核医学検査の臨床利用について (仮)」

静岡県立総合病院 放射線技術室

孕石 圭 先生

教育講演

「術前に脳神経外科医が必要とする画像と機能情報 (仮)」

* ゆうちょの口座を開設するのに必要であるため、MRI部会会則を更新した。認定技師のポイントを得るために名称をMRI部会研修会からMRI技術研修会と勉強会の名称を変更した。

V 管理士部会

「第25回 放射線技師のためのセミナー」 予定

【日 時】平成27年1月17日 (土) 13:30~

【場 所】静岡県放射線技師会事務所

【内 容】

最新技術講演 「FPDの最新技術 (仮)」

富士フィルムメディカル (株)

コニカミノルタヘルスケア (株)

会員発表 テーマ 「CR からFPD 更新に伴う撮影条件について」

静岡市立清水病院 大瀧 篤志 会員

聖隷三方原病院 大橋 輝也 会員

最新技術講演 「Exposure Index 値の製品への応用 (仮)」

(株) フィリップスエレクトロニクスジャパン

特別講演 「デジタル一般撮影における線量指標Exposure Index について」

～ 基礎知識と臨床運用への課題 ～

奈良県立医科大学附属病院 中央放射線部
中前 光弘先生

* ホームページからの被ばく相談はありませんでした。

第7回中部放射線医療技術学術大会

平成26年度 第一回中日本地域教育委員会会議報告

【日 時】 平成26年11月1日(土) 13:40～15:00

【場 所】 名古屋国際会議場 4号館3階
435号室

1. 26年度11月以降予定

静脈注射 静岡 平成27年2月8日(日)

2. 27年度 基礎講習会予定

| | | |
|------|----|-----|
| CT認定 | 三重 | 8月 |
| MRI | 富山 | 9月 |
| 乳房 | 福井 | 8月 |
| 消化管 | 静岡 | 12月 |
| IVR | 愛知 | |
| 腹部US | 石川 | 7月 |
| 腹部US | 岐阜 | 1月 |

第56回 東海四県放射線技師学術大会

テーマ 「チーム医療における読影補助を考える」

【日 時】 平成27年2月15日(日) 9:00～16:00

【場 所】 メルパルク名古屋 2階 瑞雲の間
名古屋市東区葵3-16-16
(052) 937-3373

【当 番】 (公社) 愛知県診療放射線技師会

【参加費】 会員 1,000円、非会員 2,000円、
学生500円(学生証提示)

【共 催】 東海四県放射線技師会/第一三共株式会社
プログラム

9:30～9:35 当番県挨拶

(公社) 愛知県診療放射線技師会
会長 佐野 幹夫

9:35～9:50 情報提供

第一三共(株) 東海支店 エリア統括第一部

造影剤・肝疾患担当 工藤 賢司

9:50～10:50 講演1

「チーム医療における診療放射線技師の関わり
(仮題)」

10:50～11:50 講演2

「各施設におけるチーム医療の実践」3施設

①メディカルコーチング②放射線治療③救命救急

12:00～12:50 ランチョンセミナー

「診療放射線技師の読影補助について(仮題)」

13:00～14:00 特別講演「Aiに関する講演」

14:00～15:45

シンポジウム「チーム医療における読影補助」
4施設 ①CT・MRI ②乳房 ③US ④救命
救急・血管撮影

15:45～16:00

京都府放射線技師会 H27年度 全国大会のPR
当番県会長挨拶

(公社) 岐阜県診療放射線技師会会長
安田 鋭介

16:00～ 日本診療放射線技師会理事挨拶
畦元 将吾

静岡県担当依頼

講演2: 座長 聖隷三方原病院 田中 陸生

講演2: 放射線治療

浜松医療センター 鈴木 康治

シンポジウム: 超音波

富士市立中央病院 澤口 信孝

マンモグラフィの講習会を事務局として静岡県
放射線技師会が行っているが11月に医師の読影技
術講習会があり、47名が受講した。本日举行されて
いるマンモグラフィ撮影技術講習会は50人中19人
が県外の方が受講している。医師が絡んでいるた
め中々、問題が多い。

和田会長

副会長報告の中でご質問があればお受けいたし
ます→なし

③ 常任理事報告

総務：酒井理事

報告事項

賛助会員宛ての新春公開講演会ご案内をジャーナルに同封した。

新春公開講演会の案内文書を生涯学習センターと医療関係団体に20部作成し発送予定。

年賀状130枚作成。30枚程追加購入予定。

12月18日（木）18時からに労政会館に下見の予定。

どなたか昨年新春公開講演会に参加された理事の方と行きたい。新春公開講演会とアール祭の予約は第2回理事会で確認済。

総務庶務：鈴木理事

ホームページのお問い合わせが2件あり。

1. 伊豆保健医療センターの伊藤理沙会員が未払いの技師会費を支払い後8月末で退会したいとのことで会費の支払いを確認ご柴田庶務会員管理理事に対応して頂いた。
2. 富士市立中央病院の増田裕司会員が結婚したとの連絡を受け、事務局の石川さんに電報を打ってもらった。

庶務一般：赤池理事

会員動静について（理事会承認事項）8月の理事会から11月30日まで

新入会11名

横山 和佳（中部） 村松 涼平（中部） 中平 賢志（中部） 太田 晃輔（中部）

滝井 剛（中部） 興津 祐里（中部） 山本 香澄（中部）

7名

長谷川 琢哉（西部） 石田 晃平（西部） 高橋 優（西部） 青島 由季（西部）

4名

再入会1名

三浦 健一（中部）

転入会1名

城間 継子（西部）

退会1名

伊藤 理沙（東部）

新入会11名、再入会1名、転入会1名について定款第3章第6条に基づき本理事会での採決をお願いします。

和田会長

採決に入ります。採決は挙手にて行います。

反対0名 保留0名 賛成15名

全会一致で承認された

庶務会員管理：柴田理事

会員数及び、2014年度会費の納入状況は2014年11月28日現在で総会員数831名、159名が未納で納入率が80.6%

会計：荒井理事

会費が減額し、未納入者が多く、9月30日で納入済619人、10月30日で657人。収支計算書でマイナスですが必要予算等を組む予定。中間決算書を参照してください。

編集：蒔田理事

報告事項及び協議事項なし（当日欠席事前報告）

広報：市川理事

【報告事項】

H26/9/7 「第35回静岡ふれあい広場」開催

参加者 実行役員29名、賛助会員（メーカー）3名。来場者（延べ人数）総数545名、内訳は、腹部超音波検査無料体験；140名 骨密度検査無料体験；256名、乳がん検診『自己触診のすすめ』；141名、医療被ばく相談；8名、技師の仕事啓蒙パンフレット配布；約130部

H26/9/20 静岡対がん協会 平成26年度 静岡県がん征圧大会に参加。あざれあ、静岡県産経済会館に赴き、秋季公開講演の広報について情報収集。

H26/9/26 静岡市に秋季公開講演会の後援名義使用承諾申請を行い受理される。

H26/10/10 第35回静岡ふれあい広場第3回全体会に参加。

H26/10/23 「あざれあナビ」へ秋季公開講演会のポスター掲載依頼。

H26/10/31 各施設への送付用、公開講演ポスター・掲示依頼書印刷および発送準備作業。(蒲原病院にて)

H26/11/4 静岡市近郊病院とあざれあ、静岡商工会議所、静岡県産経済会館、県教育会館、静岡県病院協会、静岡県商工会連合会に秋季公開講演会のチラシとポスターを配布と広報依頼を行った。「原子力災害緊急時対策研修会」「秋季公開講演会」について、県庁記者クラブに投げ込み。秋季公開講演会の下見(静岡県産経済会館にて)

H26/11/8 「あざれあナビ」へ原子力災害緊急時対策研修会のポスター掲載依頼。

H26/11/23 秋季公開講演会開催。参加者数：会員17名、一般3名、報道3名
静岡新聞社と静岡放送の取材があり、同日のSBSニュースで講演会の模様が放映され、後日静岡新聞にも記事が掲載された。

【協議事項】

特になし

和田会長

静岡新聞の後援はとることが可能か？公益社団法人として余りにも参加人数が少ないため後援がとれればとりたい。

④ 地区選出理事報告

東部：田中理事

東部地区会報告

事業報告

○平成26年9月11日(木)

第3回幹事会「沼津市立病院 会議室」(出席者13名)

○平成26年9月17日(水)

地区だよりVol.2発行

○平成26年10月23日(木)

第4回幹事会「沼津市立病院 会議室」(出席者15名)

○平成26年11月15日(土)

東部地区ふれあい広場

(沼津市立病院にて開催 市立病院・糖尿病イベント2014に参加)

協会員6名、ブース来場者40名 静岡新聞東部版に写真が掲載された。

○平成26年11月22日(土)

第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー開催

(沼津市立図書館 講座室にて開催)参加者：会員、非会員47名

東部地区忘年会 参加会員31名

○平成26年11月27日(木)

第5回幹事会「沼津市立病院 会議室」

事業予定

○平成26年12月上旬

地区だよりVol.3発行予定

○平成27年1月31日(土)

第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

(プラサヴェルデ 4F会議室)

東部地区新年会

○平成27年2月12日(木)

第6回 幹事会「沼津市立病院」

○平成27年2月中旬

地区だよりVol.4発行予定

○平成27年3月7日(土)

第53回 東部地区会通常総会

(沼津市立病院 講堂)

中部：望月理事

〈経過報告〉

○平成26年9月4日 第2回幹事会〔静岡市立清水病院〕出席者 11名(地区幹事+異常担任)

事)

1. 地区会長 挨拶
2. 県技師会理事会報告
3. メディメッセージ2014について
4. ふれあい広場について
5. 第1回胃がん検診従事者講習会・第1回放射線セミナーの幹事の役割分担について
6. レクリエーションについて
7. 地区会費未納者の対応
8. 地区会ニュースの発行について
9. その他

○平成26年9月7日(日)

第35回静岡ふれあい広場〔青葉シンボルロード〕

【来場者】 延べ人数：545名

- ・腹部超音波検査無料体験：140名
- ・骨密度検査無料体験：256名
- ・乳がんの検診：141名
- ・医療被ばく相談：8名

○平成26年9月27日(土)

第1回放射線セミナー・第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 48名参加

『放射線セミナー』

〔パルシェ 7階 第1会議室〕

“CTの最新情報”

〔SOMATOM CTの最新情報〕

SIEMENSイメージング&セラピー事業本部CT
ビジネスマネジメント部 前田 路代 先生

「これからのCTの動向

- GEの最新CT Revolution CT の技術 - 〕
- GEヘルスケア・ジャパン株式会社CTセールス
&マーケティング部 成田 隆任 先生

『胃がん検診エックス線撮影従事者講習会』

“ピロリ菌感染を考慮した胃X線検査”

静岡赤十字病院 健診部長・経鼻内視鏡センター長 川田 和昭 先生

○平成26年10月14日

地区会ニュース秋号 発送

○平成26年10月25日(土)～10月26日(日)

メディメッセージ2014〔ツインメッセ静岡〕

協力者 38名

○平成26年11月15日(土)

中部地区会レクリエーション
ボウリング大会〔静活プラザボウル〕
参加者44名、懇親会 参加者25名

〈行事予定〉

平成27年3月1日(日)

第2回放射線セミナー・第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

平成26年度 中部地区総会〔もくせい会館〕

西部：片山理事

西部地区報告

◎経過報告

○9月7日(日)

社会活動 第5回可美公園まつり(健康ブース)に参加〔可美公園総合センター〕

・骨密度測定無料体験 224名

・乳がん検診無料相談 39名

・放射線技師の仕事について日本放射線技師会からの資料を配付100部

○10月11日(土)

編集委員会、西部TIPS第2号を発行

○10月24日(金)

レクリエーション「ボウリング大会」を開催
参加者45名〔浜松毎日ボール〕

◎行事予定

○勉強会

11月15日(土)

平成26年度第2回静岡県放射線技師西部地区会勉強会

講演『Mark 7 Arterion の製品説明』

バイエル薬品株式会社 学術課 中川 裕幸先生

第2回胃がん健診X線従事者講習会

講演『高濃度硫酸バリウムの特性について』

伏見製薬(株) 竹内 修平 先生

講演『一緒に学ぼう！胃癌治療ガイドライン～

『胃がん検診X線検査とのつながり～』

藤枝市立総合病院 放射線科 蒔田 鎮靖 先生

第2回放射線セミナー

講演 『小児CT被ばくの正当化と最適化』

国立成育医療研究センター 放射線診断科 医
長 宮崎 治 先生 [浜松商工会議所]

○編集委員会

西部TIPS第3号を1月発行予定

○勉強会

3月7日(土)

平成26年度静岡県放射線技師西部地区会通常総
会

平成26年度第3回静岡県放射線技師西部地区会
勉強会

⑤ 常設委員会理事報告

学術：竹田理事

来年度の学術大会の演題募集の会告を出した。
ランチョンセミナーはクラウド型のPACSにつ
いてGEにお願いした。公開講演は県民が集まり
やすい内容を検討していて温泉療法を考えている。
静岡県内に温泉療法専門医が何人かおられ現在何
人かに交渉中です。

企画調査：佐々木理事

11月7日(金)に3会合同会議に合わせて企画
調査委員会を開催した。内容は来年の3月14日
(土)の放射線技師研修会について役割分担等
を決めた。

⑥ 監事報告

窪野監事

・特にありません

近藤監事

・特にありません

石川事務員：報告事項なし

市川広報理事兼情報管理委員長

エクセル、ワードのファイルのタイトルに禁則
文字が多く使われていました。特に半角および全
角の「スペース」「ドット」は不測の事態を招き
かねませんので、技師会全体として使わないよう
お願いいたします。(15:15)

(3) 協議事項 (15:30)

①技師会費未納者対策

和田会長

11月28日現在で159名が技師会費を未納である。
現対策として未納者本人に督促状を出している。
各副会長から未納者に電話で催促をした。常任理
事会でも議論したが決定的な策はなかった。次年
度から日本診療放射線技師会費と静岡県診療放射
線技師会費が合算請求になり増えるのではない
か？今年度は静岡県診療放射線技師会費を2000円
減額し8000円にしたため両技師会費が別々であっ
たのも一因ではないか？しかし減額したのに未納
者数が多いのは困る。コンビニ等で支払いたいが
今回の県技師会費の支払い方法がうちよのみで
また、振込手数料もかかり未納者が増えたのでは
ないか？また、振込用紙を紛失したのではない
か？技師会費の納入率が悪いと会務に影響が出る。
県から委託の胃がん検診については3分割して各
地区に支払っている。賛助会員の会費も下がって
きている。

望月副会長

未納者の方々は病院等の多くの診療放射線技師
が勤務している方ですか？

和田会長

未納者リストは各副会長に渡しているか？

柴田庶務会員管理理事

10月末に会務メールで送っている。

和田会長

病院が一括し、技師会費を納入しているところ
はありますか？

望月副会長

6月の賞与が出たら技師長が集める。請求書を
配ってしまうと紛失の原因となる。

和田会長

各所属長に協力していただいて自施設の技師会費の徴収をお願いすることなど、会長在任中に技師長会議を開きたい。施設から振り込まれるところはるか？→石川事務員より結核予防会のみ。個人対応が多い。

佐々木企画調査理事

自動振り込みの口座振替はどうか？

片山組織理事

なかなか口頭で支払うように言っても何人かは未納である。金融機関に同行、または冬の賞与から給与天引きするくらいで行わないと厳しいのではないか？

和田会長

各組織理事は地区の幹事会で会費を未納の方は支払うようにお伝えください。

②静岡県放射線技師会主催研修会のポイント申請について

柴田庶務会員管理理事

管理士部会長から山本副会長に静岡県診療放射線技師会が開催している研修会の日本診療放射線技師会のポイント申請がうまく行われていないのではないかと問いがあつた。庶務会員管理の業務で各部会、役員からイベント申請の申し出があれば会員管理が会告をもとにJARTに申請。承認されれば研修会申請の場合1時間につき1カウント。社会奉仕活動については個別設定で生涯カウントが付与される。イベント等終了後はイベントの担当者から出席者名簿を会員管理に送ってもらい出席者名簿をJARTの学術担当に送る。スムーズな対応を要望しているがこれ以上どうしたらいいか？一つはイベント担当者（各役員）直接JARTにイベント申請を行い、イベント終了後、JARTの学術担当に直接出席者名簿を送る位しか無いのではないかと。しかし、システム的に無理なのではないか？

和田会長

JARTのカウント申請は学術・研修カウント、資格認定カウント、社会活動の3つにわかれている。

学術研修の中では都道府県放射線技師会が主催する研修会、セミナーなどで学術研修カウントが付与されることがありますが主催者（静放技）からの事前申請が必要。カウント付与の対象となるかどうかは必ず主催者（静放技）にお問い合わせください。カウントされるかどうかは日放技に静放技の担当者が聞かなくてはならない。社会活動は日放技が実施する調査事業への協力（15ポイント）、診療放射線技師が専門性を生かす公益事業をさしてあり、これに参加した者に付与される。具体的にはふれあい広場など事前に申請を行えばポイントが付く。

柴田庶務会員管理理事

イベント開催の前日までに日放技に申請すればよく、イベント終了後出席者名簿を日放技に送りポイントが付与される。今まで過去のイベントに関してすべてポイントが付与されている。

荒井会計理事

原子力安全技術センターで行われた生涯補償研修会でポイントが得られると記載してあったが実際にポイントが入るまで2年間かかった。原子力安全技術センターに問い合わせるとポイント申請はしてあるとのこと、また日放技に問い合わせるとポイント処理が遅れているとのことであった。日放技の事務局に問題があるのではないかと。

片山組織理事

9月7日の行われた可美公園祭り（西部地区ふれあい広場）の申請が事後申請ですが申請できましたか？

柴田庶務会員管理理事

再度確認してみますが申請できたと思います。

市川広報理事

静岡ふれあい広場や秋期公開講演会も該当するのかわかっていますか？

柴田庶務会員管理理事

該当します。

市川広報理事

参加証明書は各自で保存しておいた方がよいのかわかっていますか？

和田会長

保存しておいてください。ただ日放技の申請に落ちてしまうこともある。企画の度に参加証明書は発行してください。ポイントに制限があり、胃がん検診エックス線撮影従事者講習会は何度受けても1年に2ポイントしか付与されない。放射線管理士、放射線危機管理士について自分が受講した参加証明書を持っていれば問題ないのではないかと協議事項というより再確認事項なので承認は取りません。

和田会長

平成26年度12月4日原子力災害時緊急対策研修会の企画報告書について承認を得たい。

理事会承認を採決します。

反対 0名 保留 0名 賛成 15名（全会一致承認）

佐々木企画調査理事

原子力災害時緊急対策研修会の実行委員の交通費等が支給されていない。過去の開催時も支給されていなかった。今後実行委員として参加して頂ける会員にどのように対応したらよいか考えてほしい。部会や委員会は交通費等が実行委員に支給されていたが、研修会は支給されないものと認識していた。

和田会長

石川事務員に実行委員の交通費等が支給されていないか確認したところ、やはり出ていないと過去にこの研修会の前に鷹匠の事務所にて委員会を開催し、その際旅費等清算書の処理を行ったが現在は研修会現地集合になり交通費等は支給されていない。非常に公益事業として重要な研修会であり、実行委員10数名に対して交通費等を後日支払う予定。

③原子力災害時の静岡県技師会の県への協力依頼について

望月副会長

12月2日に県庁地震対策オペレーション2015（大規模図上訓練）の説明会に参加。今年から初

めて大規模図上訓練を1月16日に開催するようになった。県庁の危機管理センターで知事、警察等の大きな施設の方が参加され行った。3.11の時に原子力に関する県民からの問合せがものすごくあり、県庁の方が困っていた。県民からの被ばく相談等を静岡県放射線技師会にお願いしたいとのことであった。具体的にはまだ何も決まっていない。

和田会長

知事が参加した大規模図上訓練、消防、警察、行政、中電が行っているのは報道で見たことがある。技師会には話は来ていない。では技師会としては何をやるのか聞いてみた。3.11が発生した後、3.15に県の健康福祉部から連絡があり、午後から技師会事務所に待機、県庁の行政より技師会事務所に来て県民から放射線の問い合わせが沢山来ていて非常に困っているとのことであった。県の行政は和田会長に何か対策はないか要望した。4階に県の危機管理センターをもうけ、直通の電話を3本引くので県民からの放射線の問い合わせを対応してほしいとのことで技師会から1日3名、10日間電話対応をした。（8時30分～17時まで）有事の際は放射線技師会が行うと、小泉総理の時に放射線技師がやらなくてはいけないと既に決まっている。

望月副会長

1月16日の大規模図上訓練を実施する日に静放技に2名の参加要請があり。望月副会長ともう一人被ばく相談をおこなうことになった。実際に原子力災害が起こった時、技師会としてどのような協力ができるのか？

和田会長

有事の際、県庁に直通の電話を引いてくれれば3.11の時のように電話による被ばく相談を行う。しかし、夜間は厳しい。

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 15名（全会一致承認）

④原子力緊急時災害連絡網改訂について

望月副会長

本会は「静岡県地域防災計画（原子力対策編）」の協力団体に指定されていることから毎年、静岡県が実施する国の原子力防災訓練に専門的技術集団として参加しています。毎年その訓練と同時に情報伝達訓練をおこなっています。今年度は役員が変わりましたので連絡網の順番変更を行いました。この原子力緊急時災害連絡網は県の要請により本会に加入非加入に関わらず、初期被曝・2次被曝医療機関や災害拠点病院を明確にした連絡網となっています。また、個人情報の都合で技師長名は記載せず施設名だけの連絡網となっております。来年2月6日に静岡県原子力防災訓練が行われる予定となっています。同時に原子力緊急時災害情報連絡訓練をいたします。訓練では、各施設の代表電話番号に静岡県放射線技師会より、緊急災害時防災連絡網と連絡させて頂き技師長様（施設の担当者様）に直接の連絡となります。1月の中旬までに各施設に配布予定ですので承認お願い致します。

和田会長

2月6日は県で防災訓練は行いますか？

望月副会長

特別なことが発生しない限り行うと思います。再来週にまたその会議があるので参加してきます。

和田会長

防災訓練の流れ浜岡の原子力災害が発生したとの想定で県の疾病対策課から和田会長の職場に9時前後に電話が入り、放射線技師の要請をお願いしますと会長の方でスクリーニング要員を数グループ作り、そのグループの名簿等を県にファックスする。2月6日の電話訓練は11時に会長から発信し、早ければ30分から40分、諸事情で伝達が遅い地区もある。午前中は業務で技師長が電話対応できない可能性あり。訓練開始の時間に関しては常任理事会で検討する。事前に所属長宛てに公文書を送るので、所属長にはこのようなことがある事を伝えておいてください。連絡網の中の施設名称、電話番号等が異なる場合は望月副会長にご

連絡してください。また、スクリーニンググループについては管理士部会で話し合っていく。浜岡原子力発電所の周囲の病院は何か特別なことはありますか？

荒井会計理事

中東遠総合医療センターでは初期被ばく医療の訓練は行っている。しかし去年から話が途絶えている。連絡網の目的は何か？順番を見ると一番近い御前崎が後の方にありますが、緊急時やスクリーニング要員を集めるのであれば適切ではないのではないかと？

和田会長

災害拠点病院や初期被ばくに対応している病院は病院自体でやるのが沢山あるため、順番が後ろの方になっていったような気がする。マンパワーの獲得とスクリーニングに出る際、他県に行くときは日放技から要請がある可能性があるため、その際の要員を確保する伝達訓練とスクリーニングのグループ化を考えないといけない。管理士部会はその道の第一線で行っていると認識している。被ばく医療に対して迅速に対応するものとして特別に横に連絡網を作っている。東、中、西において災害に応じて要員を出さなければならない。日常の訓練が大切である。2月6日の防災訓練については詳細が分かり次第、理事会メーリングリストで情報を伝達する。スクリーニング要員については望月副会長が原子力災害対策委員長なので責任者となってスクリーニングの人選をして頂く。情報伝達訓練で東、中、西、管理士部会を流します。最後の病院の所属長は県技師会事務所に連絡をお願いします。

理事会承認を採決します。

反対 0名 保留 0名 賛成 15名（全会一致承認）

⑤その他

市川広報理事兼情報管理委員長

エクセル、ワードのファイルのタイトルに禁則文字が多く使われていました。特に半角および全

角の「スペース」「ドット」は不測の事態を招きかねませんので、技師会全体として使わないようお願いいたします。

竹田学術理事

静岡県技師会の受付システムについてもう少し使いやすくないか？意見があがっている。セキュリティソフトが完全になって全くデータの詳細内容が見れない。静岡県技師会のカードを忘れてきた方は検索ができない。日放技のカードでは桁数が違うため検索ができない。受付しにくい。

柴田庶務会員管理理事

受付システムは10年くらい前の古いソフトで県技師会カードの受付ソフトは日放技が日放技のカードを作った時に頂いたものである

田中組織理事

東部は受付を紙で行っている。その紙をエクセルにおとして柴田理事に送っている。

望月組織理事

カードで受付していると思います。特に問題はない。

柴田庶務会員管理理事

西部にはアクセスデータを送っている。

竹田学術理事

是非受付システムを改修してほしい。

柴田庶務会員管理理事

OSがWindows 7,8になってしまうと現在使用しているアクセスファイルが使えなくなってしまう。アクセスデータも2007までしか使えない。PCを更新していくと使えなくなってしまうので受付システムのソフトの更新は必要である。

望月副会長

手書きのものをエクセルにおとすのは中々手間である。

和田会長

情報管理委員会を中心によりよい受付システムの構築をなるべくお金をかけずにしてほしい。

市川広報理事

技師会のカメラについては5年保証で保証期間のため修理に出した。一眼の良いカメラなので直

りましたら理事会メーリングでお知らせします。

和田会長

次年度の事業計画案、予算案、学術大会の大会テーマ議題に挙げていきたい。荒井会計理事は東海会計事務所の松本さんに1月の終わり頃に話してください。年度が変わる前に理事会で承認を得ると定款で謳っている。

次回第4回理事会は平成27年2月28日（土）14：00～ 静岡県放射線技師会事務所

* 議長が、ほかに報告事項、協議事項がないか諮ったところ、全員より「特になし」の声が上がったので議長は議事の終了を宣言し16時50分閉会した。

平成26年12月6日

メッセージボード

平成27年2月現在

東部地区

◎経過報告

H26/10/23 (木)

第4回幹事会

「沼津市立病院」

出席者14名

H26/11/15 (土)

東部地区会ふれあい広場

(沼津市市民公開講座に参加。放射線検査の紹介、画像展示、検査に関する相談など)

来場者 40名 参加協力会員 6名



H26/11/22 (土)

第1回胃がん検診エックス線撮影従事者習会・放射線セミナー

(会場・沼津市立図書館 講座室)

『胃癌とHelicobacter pylori

～胃年齢について考える～』

沼津市立病院 消化器内科

宮城島 大輔 先生

『Dual Source CTの現状とさらなる可能性』

シーメンス・ジャパン (株)

CTビジネスマネージメント部

水町 洋章 氏

参加者47名

忘年会 「魚民 沼津駅南口店」

参加者31名



H26/11/27 (木)

第5回幹事会

「沼津市立病院」

出席者13名

H26/12/2 (火)

第3号地区だよりの発行

H27/1/31 (土)

第2回胃がん検診エックス線撮影従事者習会・放射線セミナー

(会場・プラサヴェルデ 会議室)

参加者86名

新年会 「はなの舞」

参加者54名



H27/2/12 (木)

第6回幹事会

「沼津市立病院」

出席者12名

H27/2/16 (月)

第4号地区だよりの発行

◎行事予定

H27/3/7 (土)

東部地区会通常総会
「沼津市立病院 講堂」

H27/4/23 (木)

第1回幹事会
「沼津市立病院」

H27/5/28 (木)

第2回幹事会
「沼津市立病院」

H27/6月 上旬

第1号地区だよりの発行

H27/7/11 (土)

東部地区会レクリエーション



◎経過報告

H26/11/15 (土)

ボウリング大会・懇親会



H27/2/5 (木)

平成27年度 第3回 幹事会 (静岡市立清水病院)

1. 地区会長 挨拶
2. 県技師会理事会報告
3. 第2回胃がん検診従事者講習会・第2回放射線セミナーについて
4. 地区会ニュースの新春号発行について
5. 平成26年度地区会総会について
6. 退会者承認について
7. その他

H27/2/6 (金)

地区会NEWS新春号 発行

◎行事予定

H27/3/1 (日)

平成27年度中部地区会総会

第2回胃がん検診X線従事者講習会及び放射線セミナー

H27/4

平成27年度 第1回 幹事会

H27/7

地区会NEWS夏号 発行予定

西部地区

◎経過報告

○H26年10月24日(金)

会員親睦ボウリング大会

[浜松毎日ボール]

参加人数46名

【チーム成績】

1位：山田鎌太郎・山城寛

(自宅会員+中東遠総合医療センター)

2位：松本卓弥・河合陽子・名倉義和

(聖隷三方原病院)

3位：江口幸民・中村文俊・有谷航

(浜松医療センター)

【個人成績】

1位：松本卓弥 (聖隷三方原病院)

2位：松芳圭吾 (磐田市立総合病院)

3位：山田鎌太郎 (自宅会員)



○H26年11月15日(土)

平成26年度第2回静岡県放射線技師西部地区会
勉強会

[浜松商工会議所]

参加人数49名

第2回 西部地区勉強会

プログラム

講演 『Mark 7 Arterion の製品説明』

バイエル薬品株式会社 学術課

中川 裕幸 先生

講演 『高濃度硫酸バリウムの特性について』

伏見製薬(株)

竹内 修平 先生

講演 『一緒に学ぼう！胃癌治療ガイドライン～
胃がん検診X線検査とのつながり～』

藤枝市立総合病院 放射線科

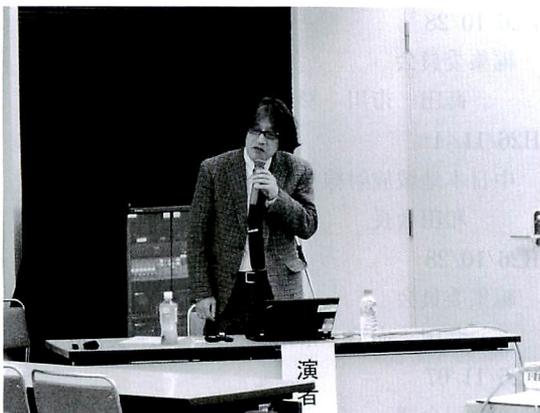
蒔田 鎮靖 先生

講演 『小児CT被ばくの正当化と最適化』

国立成育医療研究センター

放射線診断科 医長 宮崎 治 先生





○H26年10月

編集委員会

西部TIPS第2号を発行

◎行事予定

○勉強会

H27年3月7日(土)

平成26年度静岡県放射線技師西部地区会通常総会

平成26年度第3回静岡県放射線技師西部地区会

勉強会

[浜松商工会議所]

プログラム

講演 『H. pylori 除菌におけるラベキュア・ラベファインの役割』

エーザイ株式会社 静岡統括部

戸村 義隆 先生

第3回 放射線セミナー

講演

『役立つ救急医療における読影の補助』

りんくう総合医療センター

放射線技術科 坂下 恵治 先生

第2回 胃がん検診X線従事者講習会

講演

『ピロリ菌時代の胃がん検診のあり方』

あさのクリニック

院長 浅野 道雄 先生

○編集委員会

西部TIPS第3号を2月発行予定

本会の歩み

(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

H26/10/4

第62回超音波部会研修会

会 場：静岡県技師会事務所

参加者：会員32名 非会員9名

H26/10/9

第12回常任理事会

和田 望月(茂) 八木 山本 酒井

鈴木 赤池 柴田 荒井 市川

H10/10/17

第2回学術委員会

竹田 春田 中山 天野 石田 利 有谷

沢元

H26/10/11

西部地区編集委員会

西部TIPS第2号発行

H26/10/17

第2回学術委員会

竹田 利 石田 春日 天野 澤本 中山

有谷

H25/10/18

第42回 アンギオ部会研修会

会 場：静岡駅ビル パルシェ

参加者：22名

H26/10/23

東部地区第4回幹事会

出席者：15名

H26/10/24

西部 レクリエーション ボウリング大会

参加者：45名

H26/10/25

第1回 静岡県MRI技術研究会

会 場：静岡県教育会館

参加者：会員 47名 非会員 22名

H26/10/25

メデメッセージ200014

会 場：ツインメッセ静岡

協力者：38名

H26/10/28

編集委員会

蒔田 市川 杉山 島田 三輪 赤池

H26/11/1

中日本地域放射線技師会 会長会議

和田会長 山本副会長

H26/10/28

編集委員会

蒔田 赤池 市川 杉山 三輪 島田

H26/11/07

3合同会議

望月茂 田沢 望月浩正 望月尚子 細田

鈴木 池谷 根岸 佐々木 田中 前林

山村 大瀧

H26/11/11

編集委員会

蒔田 市川 杉山 島田 三輪 赤池

H26/11/13

常任理事会

和田 望月 八木 山本 赤池 鈴木

酒井 柴田 蒔田 市川 荒井

H26/11/15

第2回静岡県放射線技師会

胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

西部地区勉強会

参加者：49名

H26/11/15

東部地区ふれあい広場

参加者：40名 賛助会員：6名

H26/11/15

中部地区会レクリエーション

ボウリング大会

参加者：44名

H26/11/15

第2回西部地区勉強会

場 所：浜松商工会議所 10階会議室

H26/11/22

第1回東部地区胃がん検診撮影従事者講習会

参加者：47名(会員45名 非会員2名)

H26/11/23

市民公開講座 秋期公開講演会

「胃がん検診受診率向上を目指して」

静岡県産業経済会館

参加者：23名

酒井 八木 柴田

田沢 青島 神田 鈴木 柴田

H26/11/27

東部地区第5回幹事会

沼津市立病院会議室

H26/12/25

第17回 常任理事会 メール会議

H27/1/15

第18回常任理事会

和田 望月 八木 山本 酒井 鈴木

赤池 柴田 荒井 蒔田 市川

H26/11/27

会員管理ジャーナル発送前作業

柴田

H27/1/17

第25回放射線技師のためのセミナー

会場：技師会事務所

参加者：51名(会員43名 非会員8名)

H26/11/28

編集委員会 ジャーナル発送

蒔田 市川 杉山 島田 三輪 赤池

柴田 酒井

H27/12/18

静岡労政会館

参加者：酒井 八木 柴田

H26/11/29

表彰委員会

和田 小池 橋本 清水

H27/1/23

企画調査委員会

技師会事務所

佐々木 岡村 木内 奥川 早坂

H26/12/6

静岡県マンモグラフィ撮影技術講習会

会場：静岡県立総合病院

参加者：50名

H27/1/24

新春公開講演会

静岡県労災会館

和田 望月 八木 山本 赤池 鈴木

酒井 柴田 蒔田 市川 荒井 田中

望月浩 片山 竹田 天野 松島

参加者：会員41名 賛助会員20名

一般20名

H26/12/6

平成26年度ホームページ講習会

片山西部地区会長 竹田学術理事

池谷管理士部会長 市川情報管理委員長

柴田情報管理福委員長

講師：池谷前情報管理委員長

H26/1/24

アール祭

会場：アザレア

参加者：46名

H26/12/6

第3回理事会

和田 望月茂 八木 山本 赤池 鈴木

酒井 柴田 蒔田 市川 荒井 田中

望月(浩) 片山 佐々木 竹田 近藤

窪野

H27/1/29

第19回メール会議

H26/12/11

第16回 常任理事会

和田・山本・望月(茂)八木 酒井 鈴木

赤池 荒井 市川 蒔田

H27/1/31

第2回東部地区胃がん検診従事者講習会

第2回東部地区放射線セミナー

参加者：86名(会員80名 非会員6名)

H12/12/13

第8回医療安全セミナー 技師会事務所

田沢 青島 神田 鈴木 柴田

H27/2/6

原子力緊急災害情報訓練

H26/12/18

新春公開講演会会場下見

H27/2/8

デジタルマンモグラフィ研修会

参加者：医師：19名 技師：48名

H27/2/8

第2回静脈(抜針)講習会

参加者：36名

H27/2/12

第20回 常任理事会

和田 山本 望月 八木 酒井 鈴木

赤池 荒井 市川 蒔田

H27/2/13

学術委員会

H27/2/14

第25回乳腺画像部会研修会・第63回超音波部会
研修会合同研修会

参加者：49名

第43回アンギオ部会合同研修会・第2回静岡
MRI技術研究会合同研究会

参加者：77名(会員49名 非会員18名 賛助会
員6名 県外5名)

H27/2/15

第56回東海4県放射線技術大会(愛知)

参加者230名(愛知108 岐阜44 三重23 静岡
17 非会員29 学生9)

H27/2/24

第4回理事会最終協議会

H27/2/26

第21回常任理事会(メール会議)

H27/2/28

第4回理事会

参加者：13名

H27/3/1

中部地区総会

第2回放射線セミナー(中部)

第2回胃がん検診従事者講習会

H27/3/7

東部地区総会

西部地区総会

第3回静岡県放射線技師会西部地区
勉強会

H27/3/14

平成26年度静岡県放射線技師研修会

H27/3/21

平成26年度肺がん検診従事者講習会

H27/3/27

ジャーナルVol 24 No.3 発行

会 員 動 静 (敬称略)

(平成26年10月1日～平成27年2月27日)

【入 会】 4 名

中部：横山 和佳 J A静岡厚生連
清水厚生病院
村松 涼平 静岡県立総合病院
中平 賢志 医療法人 沖縄徳洲会
榛原総合病院
西部：長谷川晋也 豊橋医療センター

【再入会】 1 名

中部：三浦 健一 静岡市立清水病院

【転 入】 2 名

西部：金子 千尋 マツオカ脳神経クリニック
← (北海道より)
東部：中澤 淳 みしま岡クリニック
← 埼玉県より

【勤務先変更】 3 名

東部：鈴木 達人 自宅
← 富士宮市立病院
小野 香林 聖隷沼津病院
← 伊豆保健医療センター
西部：中村 親彦 浜松市リハビリテーション
病院

【退 会】 8 名

中部：菊地 直樹 静岡済生会総合病院
安池 健二 自宅
山本 満 自宅
本杉 幸一 自宅
西部：杉山 貴哉 あつみクリニック
間淵 聖子 浜松北病院
安間 啓 聖隷浜松病院
松島 真弓 聖隷淡路病院

会員総数 824名

東部 259名

中部 250名

西部 315名

(平成27年2月6日現在)

【産 休】 3 名

東部：秋田 真弓 富士市立中央病院
中部：和田 夏季 焼津市立総合病院
西部：伊藤久美子 中東遠総合医療センター

【電報】

東部：大石 雄史 御母堂様弔電
西部：遠藤 佳秀 御妻堂様弔電



- 10/2 かながわ放射線便り 252
Vol.67 No.3 Sep2014
- 10/2 第24回学術大会予稿集
大阪法技会報 No.298
大阪府放射線技師会
- 10/3 東京放射線 2014年10月 Vol.61 No.721
- 10/6 宮崎県診療放射線技師会会誌
2014.9 vol.96
- 10/6 放射線やまぐち 2014 Vol.251
- 10/20 埼玉放射線 第62巻 第4号
通巻238号
- 11/4 東京放射線 2014年11月号
Vol.61 No.722
- 11/6 愛媛放射線 No.82 2014
- 11/6 兵庫県放射線技師会 会誌 11
2014.11.1 Vol.74-②
- 11/25 鳥取県放射線技師会誌 第57号
- 11/26 富山県放射線技師会会報
Vol.80 2014
- 12/1 かながわ放射線だより 253
Vol.61 No.4 Nov 2014
- 12/8 放射線 やまぐち 2014 Vol.53
- 12/8 新潟県放射線技師会会報
第81号 2014.12.8
- 12/12 福岡県診療放射線技師会会誌
第327 Dec 4 .2014
- 12/13 東京放射線 2014年12月
Vol.61 No.723
- 12/15 大分県放射線技師会
第96 July 2014
- 12/24 栃木県放射線技師会会誌
2014 No.106
- 12/24 愛知県診療放射線技師会会誌
Vol.26 No.2 通巻154

Dec 2014

【平成27年】

- 1/5 東京放射線 2015年1月 Vol.62No.724
- 1/6 会報 北海道放射線技師会 2015.1月号
- 1/20 AART会誌 第52
平成27年秋田県放射線技師会
- 1/26 埼玉放射線 第63巻 第1号
通巻239号 平成27年1月16日
- 2/2 神奈川県放射線技師会だより
Vol.67 No.5 Jan2015
- 2/2 MART会報 83 2015.1. Vol.117
宮城県放射線技師会
- 2/2 放射線 やまぐち 2015 Vol.254

平成27年度 静岡県放射線技師会事業計画 (案)

| 開催予定日 | 平成27年度静岡県放射線技師会事業計画 | 開催日 | 平成26年度静岡県放射線技師会事業経過 |
|---|--|--|---|
| 平成27年 | 医療被ばく相談【常設】 | 平成26年 | 医療被ばく相談【常設】 |
| 4月 25日 | 第1回理事会 | 4月 19日 | 第1回理事会 |
| 5月 31日 | 第4回(公社)静岡県放射線技師会定時総会 第20回静岡県放射線技師学術大会 | 5月 25日 | 第3回(公社)静岡県放射線技師会定時総会 第19回静岡県放射線技師学術大会 |
| 6月 6日 6日 20日 27日 | 第75回(公社)日本診療放射線技師会総会 第1回放射線セミナー(西部) 第1回胃がん検診従事者講習会(西部) 第64回超音波部会研修会 第26回放射線技師のためのセミナー | 6月 7日 14日 15日 21日 | 第74回(公社)日本診療放射線技師会通常総会 第24回 乳腺画像部会 フレッシュャーズセミナー 第1回放射線セミナー(西部) 第1回胃がん検診従事者講習会(西部) 第61回超音波部会研修会(設立20周年記念講演会) 第23回放射線技師のためのセミナー |
| 7月 4日 11日 31日 | フレッシュャーズセミナー 第26回乳腺画像部会研修会 ジャーナルVol.25 No.1発行 | 7月 28日 25日 | ジャーナルVol.24 No.1発行 |
| 8月 29日 | 第2回理事会 | 8月 30日 | 第2回理事会 |
| 9月 未定 未定 26日 | 第36回静岡ふれあい広場 第6回可美公園まつり(西部地区 ふれあい広場) 第1回放射線セミナー(中部) 第1回胃がん検診従事者講習会(中部) | 9月 7日 13～14日 20～22日 27日 | 第35回静岡ふれあい広場 第5回可美公園まつり(西部地区 ふれあい広場) 第1回静脈(抜針)講習会 X線CT認定技師指定講習会 中日本地域(富山) 第30回日本診療放射線技師学術大会(大分) 第1回放射線セミナー(中部) 第1回胃がん検診従事者講習会(中部) |
| 10月 17日 24日 未定 31日 31日 | 第65回超音波部会研修会 第3回 静岡MRI技術研究会(第一候補日) 第44回アンギオ部会研修会 第1回放射線セミナー(東部) 第1回胃がん検診従事者講習会(東部) 秋季公開講演会(候補日) | 10月 4日 18日 25日 25～26日 | 第62回超音波部会研修会 第42回アンギオ部会研修会 第1回静岡県MRI技術研究会 メディメッセージ2014(ツインメッセ) |
| 11月 7～8日 14日 14日 21～23日 27日 28日 | 第8回中部放射線医療技術学術大会(福井) 第2回放射線セミナー(西部) 第1回胃がん検診従事者講習会(西部) 東部地区ふれあい広場 第31回日本診療放射線技師学術大会(京都) ジャーナルVol.25 No.2発行 平成27年度原子力緊急時災害対策研修会 | 11月 1～2日 15日 22日 23日 28日 29日 | 第7回中部放射線医療技術学術大会(愛知) 東部地区 ふれあい広場 第2回放射線セミナー(西部) 第2回胃がん検診撮影従事者講習会(西部) 第1回放射線セミナー(東部) 第1回胃がん検診撮影従事者講習会(東部) 秋季公開講演会 ジャーナルVol.24 No.2発行 平成26年度原子力緊急時災害対策研修会 |

| | | | | | |
|-------|------------------------------------|--|-------|-------------------------------|--|
| 12月 | 未定 5日 12日 | 基礎技術講習(消化管撮影) 第3回理事会 第9回医療安全セミナー | 12月 | 6~7日 6日 13日 | 第14回 静岡県マンモグラフィ撮影技術講習会 第3回理事会 第8回医療安全セミナー |
| 平成28年 | | | 平成27年 | | |
| 1月 | 16日 23日 30日 | 第28回放射線技師のためのセミナー 新春公開講演会(第25回アール祭) 第2回放射線セミナー(東部) 第2回胃がん検診従事者講習会(東部) | 1月 | 17日 24日 31日 | 第25回放射線技師のためのセミナー 新春公開講演会(第24回アール祭) 第2回胃がん検診従事者講習会(東部) 第2回放射線セミナー(東部) |
| 2月 | 未定 11日 13日 20日 27日 | 第45回アンギオ部会研修会 第57回東海四県放射線技師学術大会(岐阜) 第27回乳腺画像部会/第66回超音波部会合同研修会 第4回静岡県MRI技術研究会(第一候補日) 第4回理事会 | 2月 | 8日 14日 15日 28日 | デジタルマンモグラフィスキルアップ勉強会 第2回静脈(抜針)講習会 第63回超音波部会・第25回乳腺画像部会研修会 第2回静岡MRI技術研究会/第43回アンギオ部会合同研修会 第56回東海四県放射線技師学術大会(愛知) 第4回理事会 |
| 3月 | 5日 5日 5日 19日 未定 25日 | 東部地区総会 西部地区総会 第3回放射線セミナー(西部) 第2回胃がん検診従事者講習会(西部) 中部地区総会 第2回放射線セミナー(中部) 第2回胃がん検診従事者講習会(中部) 平成27年度静岡県放射線技師研修会 肺がん検診従事者講習会 ジャーナルVol.25 No.3発行 | 3月 | 1日 7日 14日 21日 27日 | 中部地区総会 第2回放射線セミナー(中部) 第2回胃がん検診従事者講習会(中部) 東部地区総会 西部地区総会 第3回静岡県放射線技師西部地区勉強会 平成26年度静岡県放射線技師研修会 肺がん検診従事者講習会 ジャーナルVol.24 No.3発行 |

太字の事業は、日本放射線技師会主催事業・ は土曜日・ は日曜・祭日

行事予定カレンダー

(平成27年4月～7月)

| 4 月 | | 5 月 | | 6 月 | | 7 月 | |
|-----|----------------------|-----|--|-----|---|-----|-----------------------------|
| 1 | 水 | 1 | 金 | 1 | 月 | 1 | 水 |
| 2 | 木 | 2 | 土 | 2 | 火 | 2 | 木 |
| 3 | 金 | 3 | 日 | 3 | 水 | 3 | 金 |
| 4 | 土 | 4 | 月 | 4 | 木 | 4 | 土 |
| 5 | 日 | 5 | 火 | 5 | 金 | 5 | 日 |
| 6 | 月 | 6 | 水 | 6 | 土 | 6 | 月 |
| | | | 振替休日 | | 第75回 (公社)日本診療放射線技 師会総会 第1回放射線セミナー (西部)、 第1回胃がん検診従事者 講習会(西部) | | |
| 7 | 火 | 7 | 木 | 7 | 日 | 7 | 火 |
| | | | | | | | しずおかジャーナル 第2回編集委員会 2校 |
| 8 | 水 | 8 | 金 | 8 | 月 | 8 | 水 |
| 9 | 木 | 9 | 土 | 9 | 火 | 9 | 木 |
| | | | | | | | 第7回 常任理事会 (事務所) |
| 10 | 金 | 10 | 日 | 10 | 水 | 10 | 金 |
| | | | | | | | しずおかジャーナル 最 終確認 |
| 11 | 土 | 11 | 月 | 11 | 木 | 11 | 土 |
| | | | | | 第5回 常任理事会 (事務所) | | 第26回 乳腺画像部会研 修会 |
| 12 | 日 | 12 | 火 | 12 | 金 | 12 | 日 |
| 13 | 月 | 13 | 水 | 13 | 土 | 13 | 月 |
| 14 | 火 | 14 | 木 | 14 | 日 | 14 | 火 |
| | | | 第3回 常任理事会 (事務所) | | | | |
| 15 | 水 | 15 | 金 | 15 | 月 | 15 | 水 |
| 16 | 木 | 16 | 土 | 16 | 火 | 16 | 木 |
| | 第1回 常任理事会 (事務所) | | | | しずおかジャーナル 原稿締切 | | |
| 17 | 金 | 17 | 日 | 17 | 水 | 17 | 金 |
| 18 | 土 | 18 | 月 | 18 | 木 | 18 | 土 |
| 19 | 日 | 19 | 火 | 19 | 金 | 19 | 日 |
| 20 | 月 | 20 | 水 | 20 | 土 | 20 | 月 |
| | | | | | 第64回超音波部会研修会 | | 海の日 |
| 21 | 火 | 21 | 木 | 21 | 日 | 21 | 火 |
| 22 | 水 | 22 | 金 | 22 | 月 | 22 | 水 |
| 23 | 木 | 23 | 土 | 23 | 火 | 23 | 木 |
| | | | | | しずおかジャーナル 第1回編集委員会 初校 | | 第8回 常任理事会 (Web会議) |
| 24 | 金 | 24 | 日 | 24 | 水 | 24 | 金 |
| 25 | 土 | 25 | 月 | 25 | 木 | 25 | 土 |
| | 第1回 理事会 | | | | 第6回 常任理事会 (Web会議) | | |
| 26 | 日 | 26 | 火 | 26 | 金 | 26 | 日 |
| 27 | 月 | 27 | 水 | 27 | 土 | 27 | 月 |
| | | | | | 第26回放射線技師のため のセミナー | | |
| 28 | 火 | 28 | 木 | 28 | 日 | 28 | 火 |
| | | | 第4回 常任理事会 (Web会議) | | | | |
| 29 | 水 | 29 | 金 | 29 | 月 | 29 | 水 |
| | 昭和の日 | | | | | | |
| 30 | 木 | 30 | 土 | 30 | 火 | 30 | 木 |
| | 第2回 常任理事会 (Web会議) | | | | | | |
| | | 31 | 日 | | | 31 | 金 |
| | | | 第4回(公社)静岡県放射 線技師会定時総会 第20回静岡県放射線技師 学術大会 | | | | しずおかジャーナル vol.25 NO.1 発行 |

* 都合により変更になる場合があります。県技師会・各地区会の広報誌もしくは静岡県技師会ホームページにてご確認ください。
* 日放技主催の生涯学習セミナー・ADセミナー等は、JARTまたはNetwork Nowをご覧ください。

編集後記

*間違えないように、誤字脱字を見落とさないように・・・。何度も見直しているのに前号で間違いを見落としました。関係者の皆様、申し訳ありません。今号こそは、大丈夫だと思います。

(編集委員長 蒔田)

*春になりました。新しいことをしていきたいと思っています。最近は演歌の良さもわかってきました。いい歌は風景が見えてくるようです。

(島田)

*昨年3月に定年退職して、まもなく1年が経ちます。新しい職場にもやっと慣れてきました。「健康」という2文字を気かけながら、もう少し頑張っていこうと思っています。

(三輪)

*息子の大学受験に付き添って来ました。会場へ向かう受験生の波の中、「俺も受験生に見えるかな？」と息子に質問したら、鼻で笑われました。

(市川)

*早いもので編集委員になって1年、あっという間の1年でした。残された任期を遂行していきます。

(赤池)

*年明けにインフルエンザを発症し、今は花粉症に悩まされています。健康であることが、いかに大切かを学んだ2015年のスタートとなりました。残りの任期もきちんと務められるよう頑張ります。

(杉山)

会誌「しずおかジャーナル」Vol.24 No.3 2015 平成27年3月27日発行

発行所 : 〒420-0064 静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202
公益社団法人 静岡県放射線技師会

発行人 : 和田 健

編集者 : 蒔田 鎮 靖

印刷所 : 松本印刷株式会社 〒420-0054 静岡市葵区南安倍1丁目1番18号
TEL(054)255-4862 FAX(054)253-2309

事務所案内

執務時間 : 月曜日～金曜日 午前10時より午後1時まで TEL(054)251-5954
執務時間外は留守番電話にてお受けいたします。 FAX(054)251-9690

URL <http://shizuhogi.jp>

E-mail address : shizuhogi@ac.auone-net.jp